YAMAHA

POCKET RECORDER

POCKETRAK CX

リファレンスマニュアル

JA

目 次

マニュアルについて

POCKETRAK CX の操作は、「リファレンスマニュアル」(このファイル) のほかに、「取扱説明書」（別冊）でも説明しています。

取扱説明書（別冊）： 安全上のご注意、ご使用前の準備、基本的な操作や設定を説明しています。

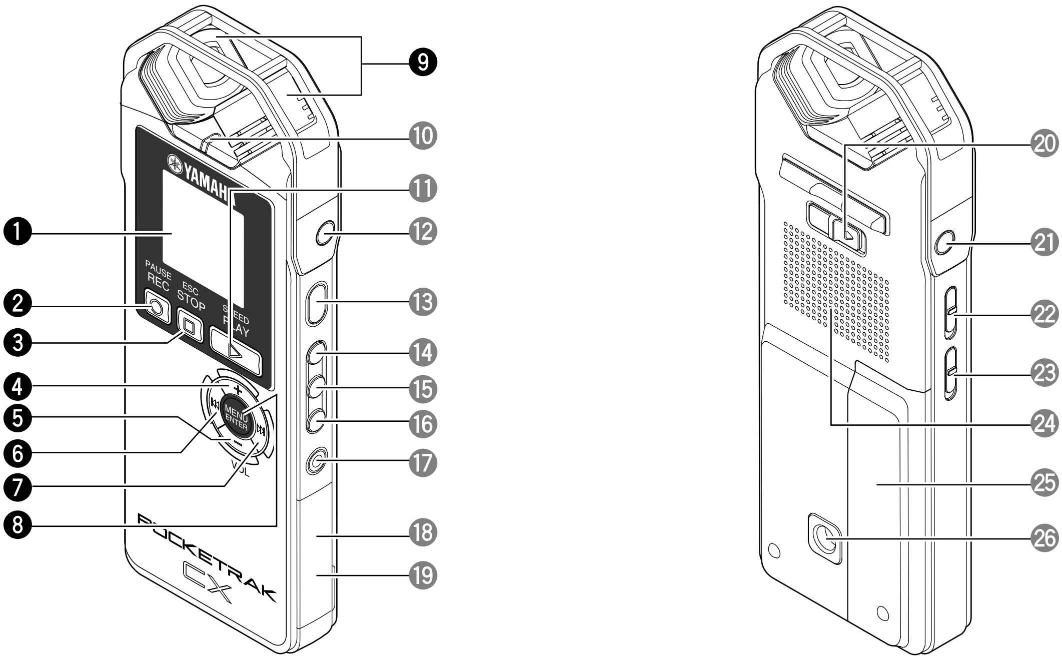
リファレンスマニュアル (このファイル): 各部の名称や機能、本機をより深くお使いいただくための設定や機能、困ったときの対処方法を説明しています。

＊ 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能

本体パネル



❶ 液晶ディスプレイ

❷ REC/PAUSE（録音 / 一時停止）◎ ボタン
録音を開始したり、一時停止したりします。

❸ STOP/ESC（停止 / 戻る）◻ ボタン
録音や再生を停止します。メニュー操作中は、1 つ前の操作に戻ります。

❹ VOL（音量）ボタン（+）
再生中や録音モニター中の音量を上げるときに使用します。また、メニュー操作やファイルを選ぶときに、カーソルを上方向に移動させるのに使用します。

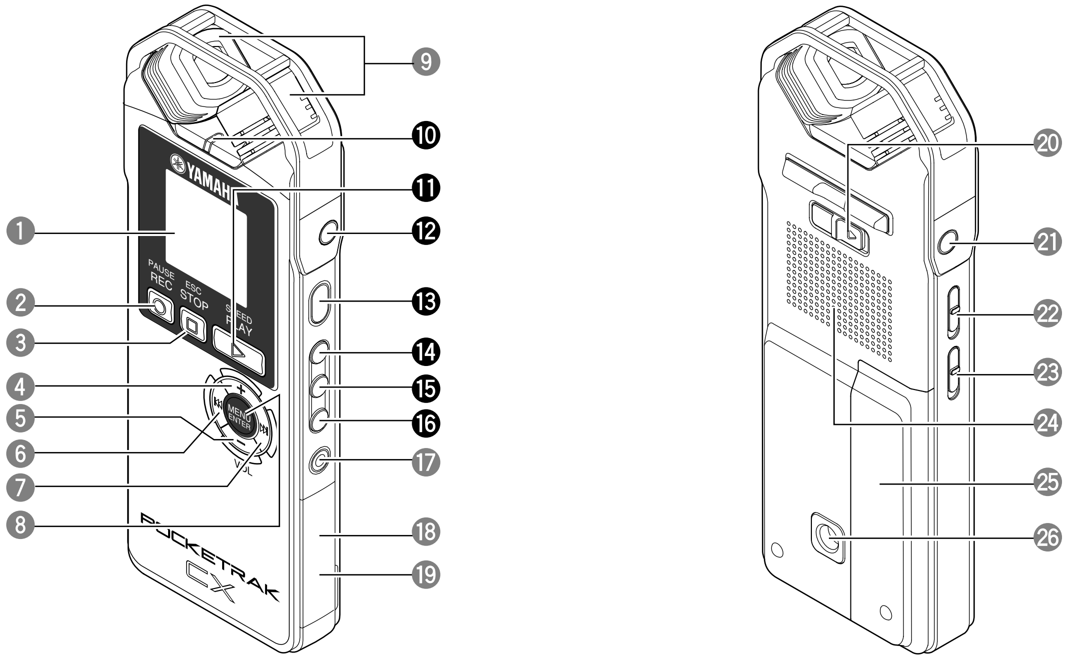
❺ VOL（音量）ボタン（−）
再生中や録音モニター中の音量を下げるときに使用します。また、メニュー操作やファイルを選ぶときに、カーソルを下方向に移動させるのに使用します。

❻ ⏮ ボタン
巻き戻しを行ないます。また、メニュー操作やリスト表示で前の操作に戻るとき、左方向にカーソルを移動させるとき、録音レベルを設定するときに使用します。

❼ ⏭ ボタン
早送りを行ないます。また、メニュー操作やリスト表示で次の操作に進むとき、右方向にカーソルを移動させるとき、録音レベルを設定するときに使用します。

❽ MENU/ENTER（メニュー / 決定）ボタン
基本画面で 2 秒以上押すと、メニュー画面を表示します。メニュー操作やリスト表示で 1 回押すと、選択した項目や操作を決定します。

❾ 内蔵ステレオマイク
X-Y ステレオ式の高性能マイクです。



⑩ LED ランプ
録音中または再生中には「録音 / 再生 LED」、録音入力レベルが大きすぎる場合は「PEAK LED」、充電中は「充電 LED」として、点灯します。

☞ LED の設定を変更する（25 ページ）

⑪ PLAY/SPEED（再生 / スピード切換）▷ ボタン
再生を開始したり、再生スピードを段階的に切り換えます。

☞ 再生する（26 ページ）
☞ 再生スピードを変える（29 ページ）

⑫ MIC/LINE（外部入力) 🎤 端子
マイク / ライン入力共通の外部入力端子です。外部マイクを接続するときは MIC（マイク) 入力に、外部機器から直接録音するときは LINE（ライン) 入力に設定します。

☞ 外部マイクの使用（10 ページ）
☞ 外部機器（CD プレーヤーなど）から録音する（14 ページ）

⑬ POWER（電源) ボタン
電源をオン / オフにします。電源オンのときは 1 回押し、電源オフのときは 2 秒以上押します。

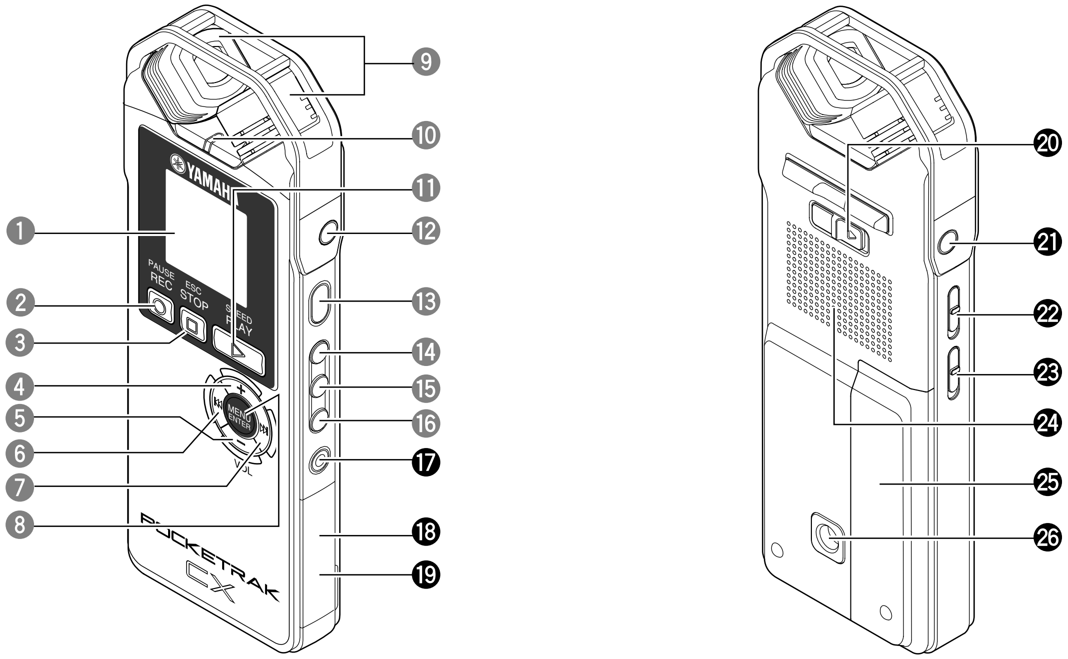
⑭ FOLDER/A-B REPEAT（フォルダー /A-B リピート）ボタン
フォルダーの切り換えや、A-B リピート、クリアボイス機能を使うときに使用します。

⑮ LIST/INDEX（リスト / インデックス）ボタン
停止中に押すと、選択されているフォルダー内のファイルを一覧表示します。
録音中や再生中に押すと、インデックス（頭出し）マークを付けることができます。

☞ インデックスを付ける（40 ページ）

⑯ EDIT/PHRASE（編集 / フレーズ再生）ボタン
ファイルを編集するときに使用します。また、フレーズ再生（設定した秒数だけ戻して再生）を行なうときに使用します。

☞ 編集する（37 ページ）
☞ フレーズ再生をする（31 ページ）



⑰ DEL（消去）ボタン
ファイル、フォルダー、インデックスを消去します。また、ごみ箱フォルダー選択中には、ごみ箱メニューを呼び出します。
☞ 消去する（42 ページ）

⑱ microSD カードスロット
microSD カードを差し込みます。

⑲ USB 端子
付属の USB ケーブルを使ってコンピューターに接続するときに使用します。

⑳ HOLD/CHARGE（ホールド / 充電）スイッチ
矢印の方向へ切り換えるとホールド（誤動作防止）が機能します。
また、コンピューターへの接続後に、矢印の方向へ切り換えるとエネループの充電が開始されます。
☞ エネループを充電する（71 ページ）

㉑ ヘッドフォン端子
インナーイヤー型ヘッドフォンなどを接続します。

㉒ ALC ON/OFF（ALC オン / オフ）スイッチ
ＯＮ に設定すると、入力レベルに応じて録音レベルを調節し、音量を一定に近づけて録音します。
☞ ALC（オートレベルコントロール）のオン / オフを切り換える（17 ページ）

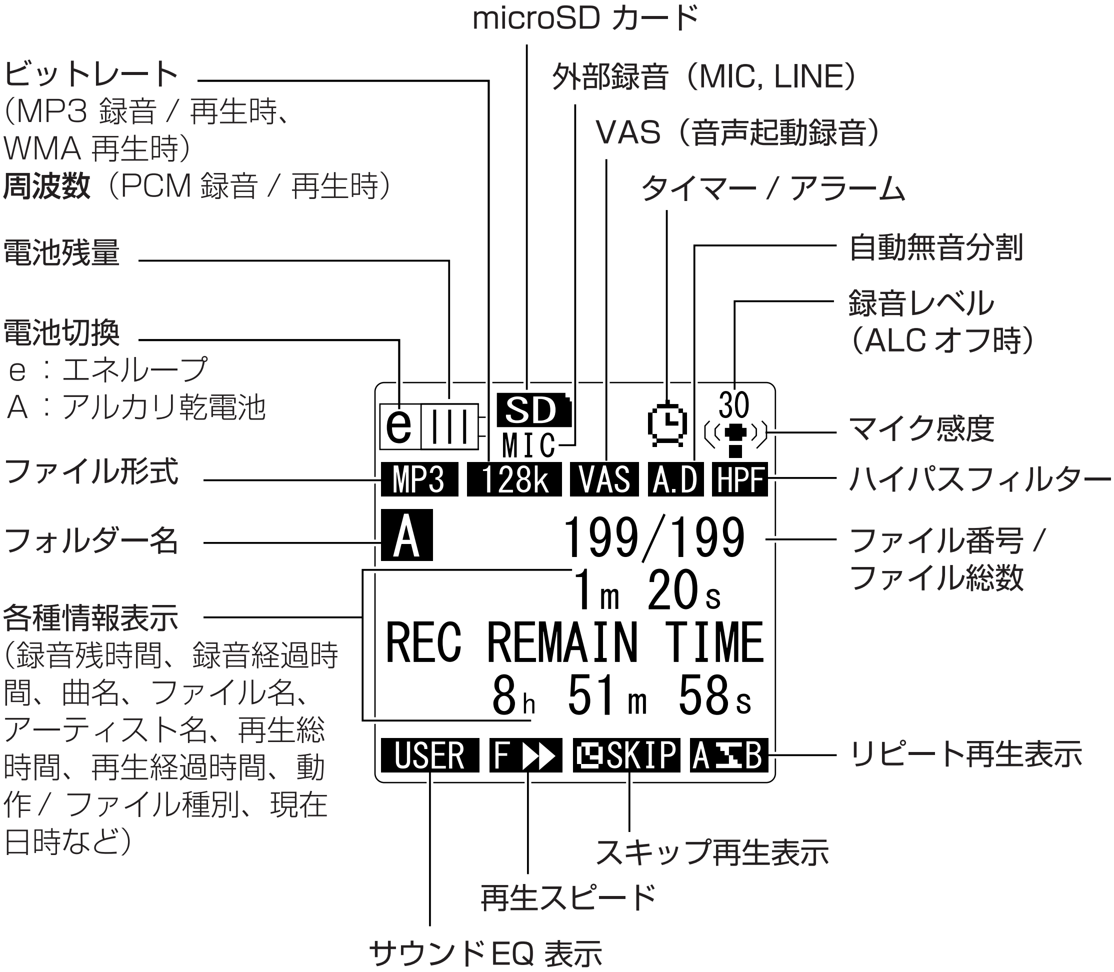
㉓ MIC SENS HIGH/LOW（マイク感度 高 / 低）スイッチ
録音場面に合わせて、マイク感度の高 / 低を切り換えます。

㉔ スピーカー

㉕ 電池ぶた

㉖ 固定用三脚穴 / マイクスタンドアダプター取付穴
三脚やマイクスタンドアダプターを取り付けるときに使用します。
☞ 三脚やマイクスタンドの取り付け（11 ページ）
☞ 取扱説明書（同梱の別冊 191 ページ）もご覧ください。

液晶ディスプレイ



Hint:

リニア PCM (Pulse Code Modulation) 録音とは

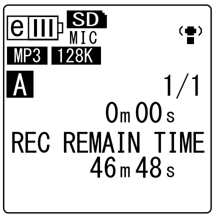
アナログ信号である音声を一定の周期でサンプリングし、デジタル信号として圧縮せずに保存する録音方式のことです。

音楽 CD（CD-DA：CD Digital Audio）は、PCM（サンプリング周波数 44.1kHz、量子化 16 ビット、ビットレート 1411kbps、周波数特性 20 ～ 20,000Hz）で録音されています。PCM 録音は、デジタルデータで記録された音声に何の加工も加えないため、音質が最も優れています。

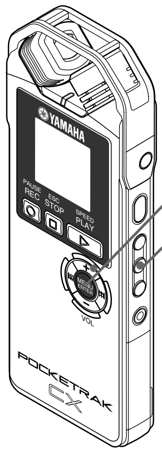
PCM 録音されたデータをコンピューターで取り込む形式を「WAVE」などと呼び、データ拡張子は「.WAV」です。MP3、WMA などの形式は、このリニア PCM を圧縮したものです。

画面について

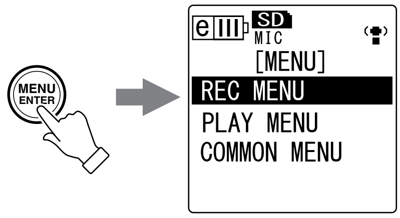
[基本画面]



電源をオンにすると表示されます。



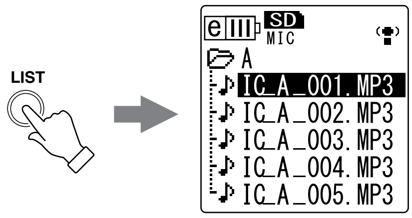
[メニュー画面]



基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押すと表示されます。

録音モードの変更、日時の設定、初期化などの各種設定ができます。

[リスト表示画面]



基本画面で [LIST/INDEX] ボタンを押すと表示されます。

microSD カードに保存されているファイルをツリー型の一覧で表示できます。

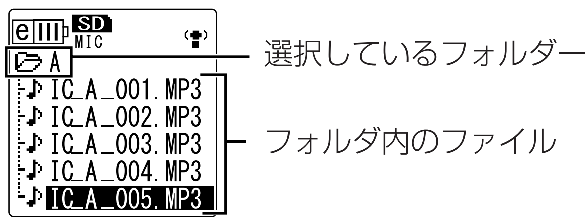
Hint:

・基本画面に戻るときは、[STOP/ESC ◻] ボタンを押します。
・基本画面で [STOP/ESC ◻] ボタンを押すごとに、表示画面が以下の順番で切り換わります (再生対象ファイルがある場合)。
[REC REMAIN TIME](録音残時間) → [DATE & TIME](現時刻) → [TOTAL TIME](再生総時間) → [REC DATE & TIME](録音日時)

リスト表示画面の操作

リスト表示画面からファイルを選択して、再生するまでの手順を説明します。

1. **基本画面で停止中に [LIST/INDEX] ボタンを押します。**
   リスト表示画面が表示されます。
2. **[VOL + / −] ボタンを押して再生したいファイルを選びます。**



フォルダーを切り換えるときは、[⏮][⏭] を押して選択するか、[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して選択してください。

Hint:

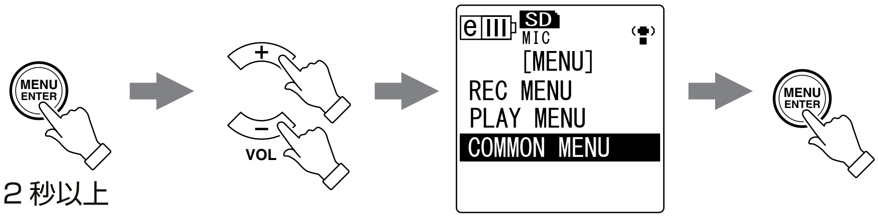
・フォルダーについて詳しくは、59 ページの「本機のフォルダー構成」をご覧ください。

3. **[PLAY/SPEED ▷] ボタンを押します。**
   再生が始まります。
4. **[STOP/ESC ◻] ボタンを押すと、再生が停止します。**

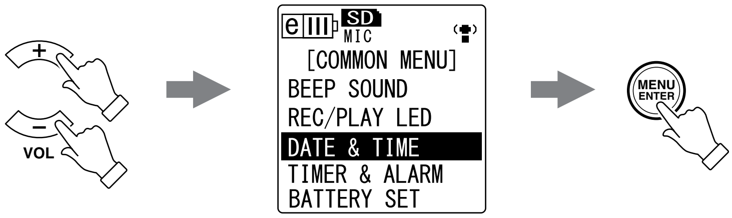
現在の日付と時間を設定する

日付と時間を設定しておくことで、「録音した年月日と時間」の情報がファイルごとに自動で記録されます。

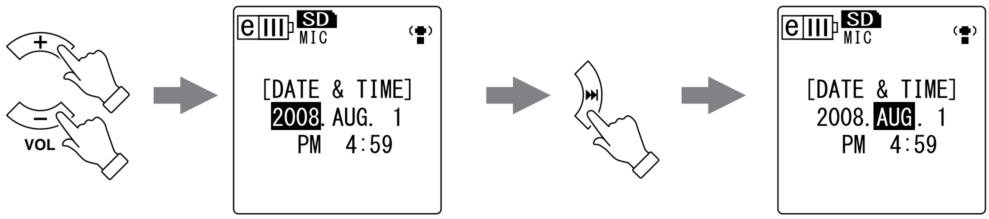
1. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを2秒以上押し、[VOL +/－] ボタンを押して [COMMON MENU] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



2. [VOL ＋ / －] ボタンを押して [DATE & TIME] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



3. [VOL ＋ / －] ボタンを押して西暦を変更し、[▶▶I] を押します。



4. 同様に月、日、24/12 時間表示切換（24H, AM/PM）、時、分を設定し、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

5. [STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

録音する

録音前の準備

ウィンドスクリーン (風防) の取り付け

内蔵ステレオマイクは高感度のため、エアコンの微風でも、マイクに直接風や息があたるとノイズとして録音されてしまいます。これらのノイズを軽減するために、ウィンドスクリーンをマイクにかぶせて使用することをおすすめします。さらにノイズを軽減するために、設定メニューの [HPF](ハイパスフィルター) を ON にすることをおすすめします（21 ページ)。

録音モードの選択

本機は MP3 形式または PCM(WAV) 形式で録音できます。たとえば、楽器演奏の録音は音質の良い PCM 44.1kHz を、楽器練習や会議の録音はデータ容量を抑えられる MP3 128kbps を選択するとよいでしょう (16 ページ)。

ALC(オートレベルコントロール) の切換

ALC は入力された音量に応じて自動的に録音レベルを調整することで、音量を一定に近づけて録音する機能です (17 ページ)。

	ALC OFF(オフ)	ALC ON(オン)
特長	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音ができます。	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく調整されます。音割れやゆがみを抑え、聞き取りに適した音声録音ができます。
主な使用場面	楽器演奏、自然の音などの録音	楽器練習、会議、インタビューなどの録音

マイク感度の切換

音量に合わせて、マイク感度を切り換えることができます。本機左側面の [MIC SENS]（マイク感度）スイッチを、音量が小さいときは [HIGH](高)、音量が大きいときは [LOW](低) に切り換えてください。

外部マイクの使用

本機では内蔵ステレオマイクを使う以外に、外部マイクを使って録音することができます。
本機の設定メニューの [REC SELECT](外部録音) で [MIC]（マイク入力）を選択し、外部マイクを本機右側面の MIC/LINE 端子に接続します。
市販の外部マイクを使用する場合は、下記仕様のマイクをおすすめします。

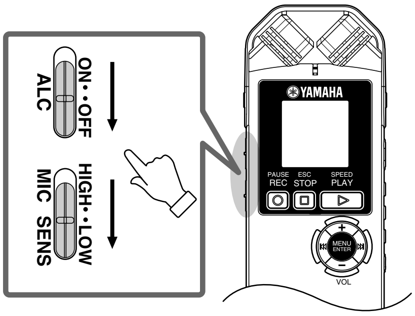
形式	エレクトレットコンデンサー / プラグインパワー方式
インピーダンス	2kΩ
電源	1.3V にて動作保証品
プラグ	ミニプラグ (φ3.5mm)

三脚やマイクスタンドの取り付け

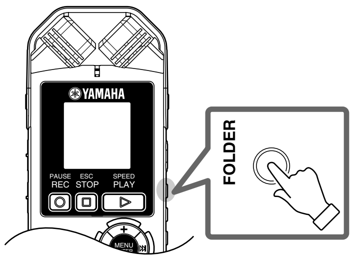
本機の三脚取り付け用の穴を使って、市販のカメラやビデオカメラの三脚を取り付けることができます。また、付属のマイクスタンドアダプターを使えば、マイクスタンドに取り付けることもできます。理想的な位置に固定できるので、楽器演奏の録音などに便利です（同梱の取扱説明書 191 ページ参照）。

楽器演奏を録音する

録音を開始する前に、[ALC] スイッチを [OFF](オフ）に、[MIC SENS](マイク感度) スイッチを [LOW](低）に切り換えておきます。



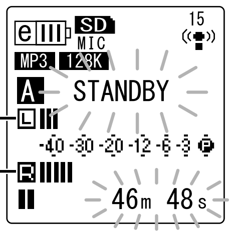
1. **側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、録音するフォルダーを選びます。**



Hint:
・[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押すたびに、フォルダーが切り換わります。ここでは、A ～ D のフォルダーから選択してください。

2. **[REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。**

「STANDBY」(録音スタンバイ) 状態になります。（この状態では録音はまだ始まっていません。）



Note:
・マイクに入る音の大きさに応じて、レベルメーターが左右に振れます。

3. **[⏮] [⏭] ボタンを押して、MIC LEVEL(録音レベル) を調整します。**
実際に録音する音を鳴らしながら、録音レベルを調整してください。

Note:

録音ピークリミッターの設定

録音ピークリミッターを ON に設定することにより、過大入力時の音の歪みを抑えることができます。通常は ON に設定して録音することをおすすめします。

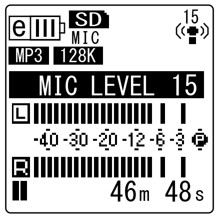
ON に設定するには、基本画面で [MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[REC MENU] → [REC LIMITER] → [ON] を選択してください。

録音ピークリミッターは、ALC が OFF に設定されているときのみ機能します。

録音レベルの調整のしかた

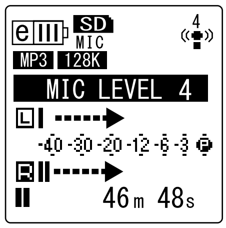
・ **適切な録音レベル**

録音する音が最も大きくなるときに、レベルメーターが右に振り切れない (LED が消灯しない) 範囲でできるだけ大きなレベルに調整します。



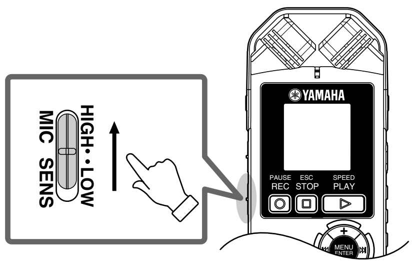
・ **録音レベルが小さすぎる場合**

[⏭] ボタンを押して、レベルメーターが右に振れるように調整してください。



Note:

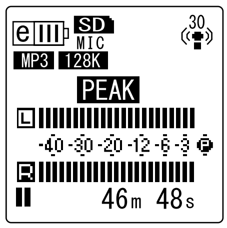
・録音レベルを 40 まで上げても適切な録音レベルにならない場合は、[MIC SENS](マイク感度）スイッチを [HIGH](高) に切り換えてください。



・ **録音レベルが大きすぎる場合**

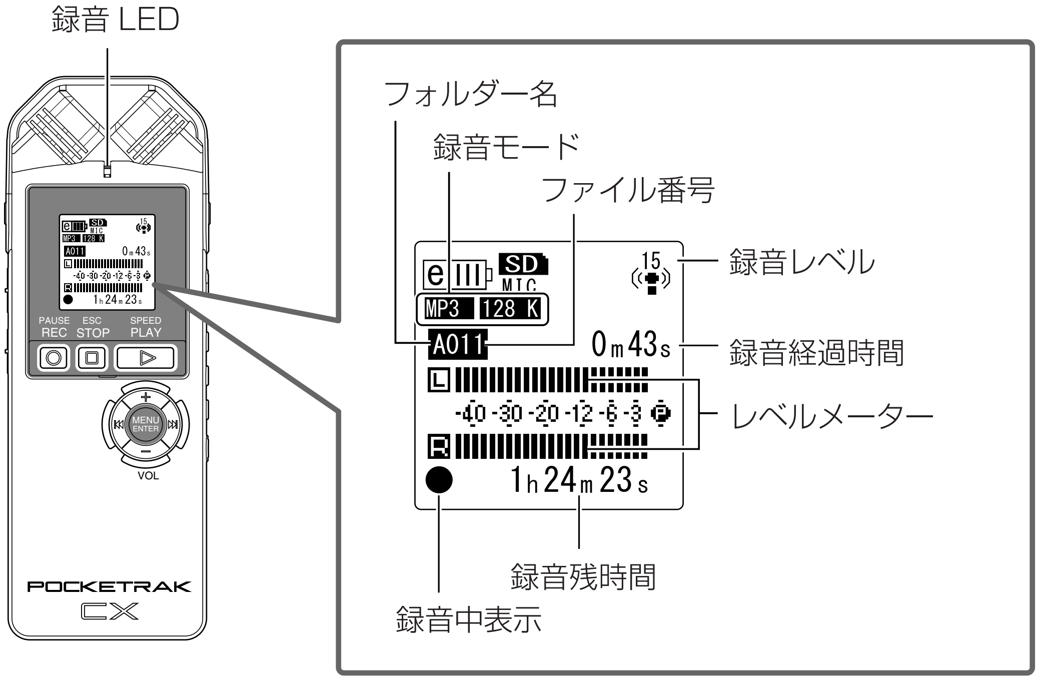
レベルメーターが右いっぱいに振れ、LED が消灯し、PEAK が表示されます。

[⏮] ボタンを押して、録音レベルを下げてください。



4. **もう一度 [REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。**
LED（赤）が点灯し、録音が始まります。

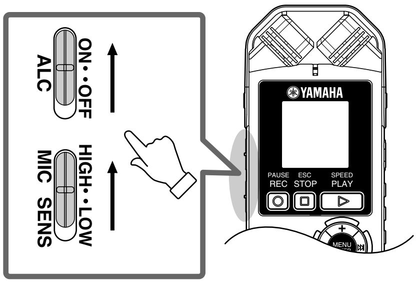
・ **録音中の表示**



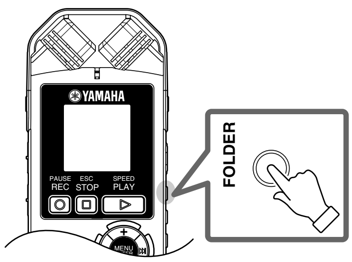
5. **[STOP/ESC ▢] ボタンを押して、録音を停止します。**
LED が消灯し、画面に REC REMAIN TIME(録音残時間) が表示されます。

簡単に録音する（楽器練習、会議など）

録音を開始する前に、[ALC] スイッチを [ON](オン）に、[MIC SENS](マイク感度) スイッチを [HIGH](高）に切り換えておきます。



1. **側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、録音するフォルダーを選びます。**

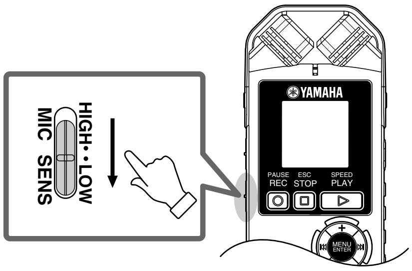


Hint:

・[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押すたびに、フォルダーが切り換わります。ここでは、A ～ D のフォルダーから選択してください。

2. **[REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。**
LED（赤）が点灯し、録音が始まります。

Hint:
・録音レベルが大きすぎる場合は (12 ページ)、[MIC SENS](マイク感度）スイッチを [LOW]（低）に切り換えてください。



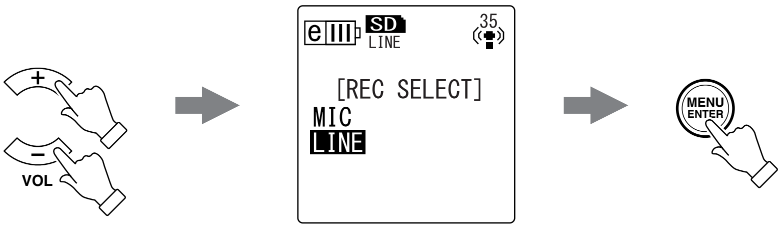
3. **[STOP/ESC ◻] ボタンを押して、録音を停止します。**
LED が消灯し、画面に REC REMAIN TIME(録音残時間) が表示されます。

外部機器（CD プレーヤーなど）から録音する

本機では、CD プレーヤー、MD プレーヤーなどの外部機器からのライン入力を録音することができます。

1. **基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [REC MENU] → [REC SELECT](外部録音) を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**

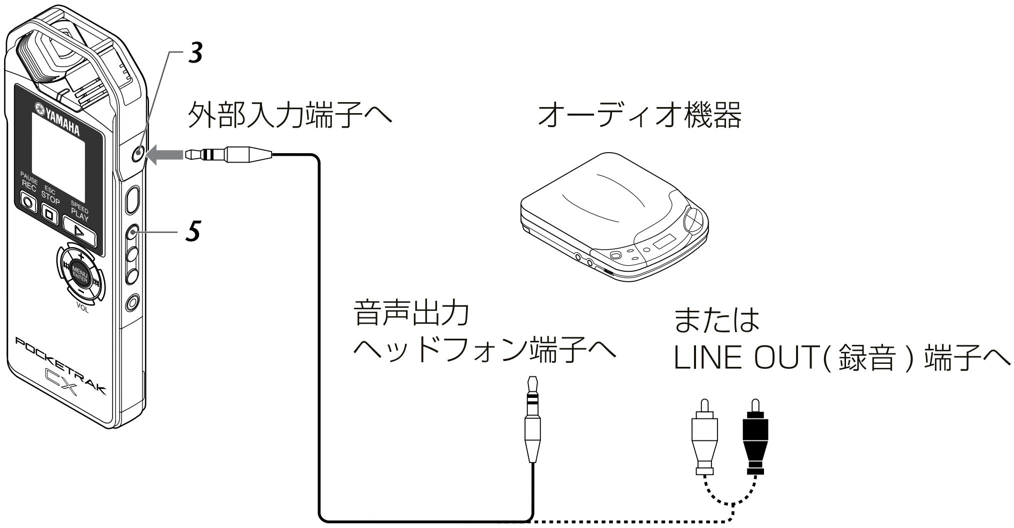
2. **[VOL ＋/ －] ボタンを押して [LINE](ライン入力) を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



Note:
・[LINE] が選ばれている場合は、本機で録音レベルの調整はできません。

3. **本機の [MIC/LINE] 端子と外部機器の音声出力端子を接続します。**

市販のオーディオケーブル（ステレオミニプラグ：φ3.5mm、抵抗なし）を使用してください。

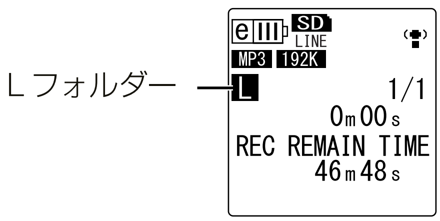


4. 外部機器で録音する音源を再生しながら、外部機器の音量を調整します。

Hint:

・事前に試し録音を行なって、適切なレベルで録音されることを確認することをおすすめします。

5. [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、“L” フォルダーを選びます。



Note:

・L フォルダーに録音時は、ALC は自動的に「オフ」になります。

6. 外部機器の音源を再生し、本機の [REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。

録音が始まります。

Note:

・録音モードは自動的に MP3 :192kbps になります。他のモードは選べません。
・ライン入力で外部機器から音声を録音中は、スピーカーから音は出ません。録音中の音声を聞く場合は、ヘッドフォンを使用してください。

7. [STOP/ESC ◻] ボタンを押して、録音を停止します。

外部機器の再生を止めてください。

録音に関する設定

録音モード (音質) を変える

本機では録音時の音質を PCM(WAV) 形式と MP3 形式から選ぶことができます。PCM は音声データをすべて非圧縮で記録し、MP3 は圧縮して記録します。音質を高めるとデータサイズは大きくなり、録音できる時間はそれだけ短くなります。下記の表を参考にして目的に合った録音モードをお選びください。

録音モード別の使用例一覧

<table>
<tr><th>録音形式</th><th>サンプリング
周波数、
ビットレート</th><th>ファイル
拡張子</th><th>使用例</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="2">PCM</td><td>48 kHz</td><td rowspan="2">.WAV</td><td rowspan="2">楽器演奏、レコーディング、CD 作成などの原音録音</td><td rowspan="4">高音質
↑</td></tr>
<tr><td>44.1 kHz</td></tr>
<tr><td rowspan="5">MP3</td><td>320 kbps</td><td rowspan="5">.MP3</td><td rowspan="3">楽器練習や会議記録などの容量を抑えた高音質の録音</td></tr>
<tr><td>192 kbps</td></tr>
<tr><td>128 kbps</td><td>標準音質</td></tr>
<tr><td>64 kbps</td><td rowspan="2">音質より長時間録音が目的の録音
(32kbps はモノラル録音です)</td><td rowspan="2">↓
長時間録音</td></tr>
<tr><td>32 kbps</td></tr>
</table>

録音可能時間 (付属の 2GB microSD カードを使った場合)

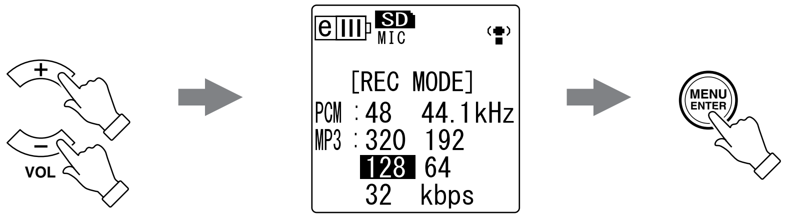
録音モード	録音可能時間(目安)
PCM 48 kHz	約 2 時間 50 分
PCM 44.1 kHz	約 3 時間 5 分
MP3 320 kbps	約 13 時間 35 分
MP3 192 kbps	約 22 時間 45 分
MP3 128 kbps	約 34 時間 5 分
MP3 64 kbps	約 68 時間 15 分
MP3 32 kbps	約 136 時間 30 分

＊録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間はこれより小さくなります。
＊2GB 以上の microSD カードをお使いの場合でも、1 ファイルあたりの最長録音時間(連続録音時間)は上記の 2GB 相当の録音可能時間までです。

録音モードを変更する

1. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [REC MENU] → [REC MODE](録音モード) を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

2. [VOL ＋/ －] ボタンを押してお好みの録音モードを選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



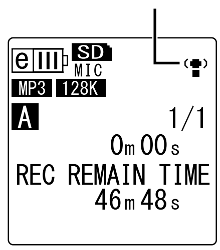
3. [STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

ALC（オートレベルコントロール）のオン / オフを切り換える

Note:
・ALC オン / オフは、A ～ D フォルダーへの音声録音時のみ切り換えできます。

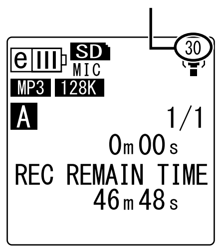
・**ALC「オン」に設定する**
側面にある [ALC] スイッチをスライドさせて [ON] 側に切り換えます。
入力レベルに応じて、録音レベルが自動的に調整されます。

ALC オン



・**ALC「オフ」に設定する**
側面にある [ALC] スイッチをスライドさせて [OFF] 側に切り換えます。
録音レベルを段階的に設定することができます (12 ページ)。

ALC オフ
（録音レベルが表示されます）



Note:
・外部機器から録音する場合は (14 ページ)、録音レベルは調整できません。

録音 EQ(イコライザー) を設定する

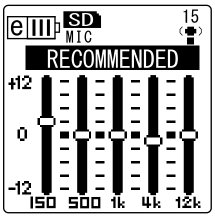
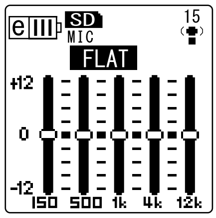
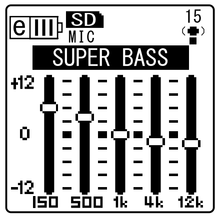
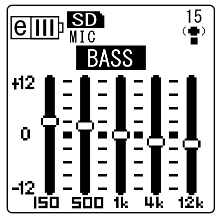
録音 EQ を設定することで、低音域を強調して録音したり、高音域を強調して録音したりして、お好みの音質で録音することができます。

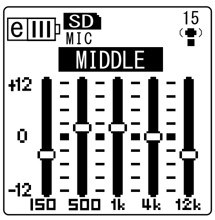
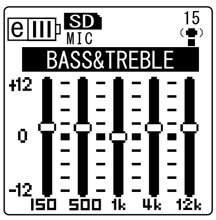
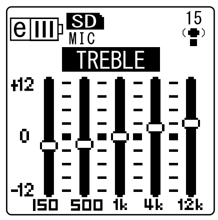
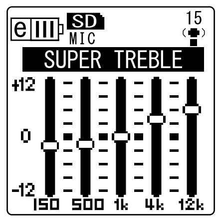
録音 EQ は ALC OFF 設定で A ～ D フォルダーへの音声録音時のみ機能します。

録音 EQ について

あらかじめプリセットされている「RECOMMENDED」、「FLAT」、「SUPER BASS」、「BASS」、「MIDDLE」、「BASS&TREBLE」、「TREBLE」、「SUPER TREBLE」の 8 種類の録音 EQ と、5 バンドの補正量を自由に設定できる「USER」から選択できます。

プリセット録音 EQ

RECOMMENDED	FLAT	SUPER BASS	BASS
			
内蔵マイクでの推奨設定です。	「録音 EQ」機能を使わず、録音します。	低音域をより強調して録音します。	低音域をやや強調して録音します。

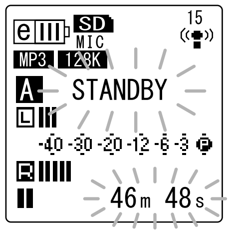
MIDDLE	BASS&TREBLE	TREBLE	SUPER TREBLE
			
中音域を強調して録音します。	低音域と高音域をやや強調して録音します。	高音域をやや強調して録音します。	高音域をより強調して録音します。

Note:

・プリセットされている 8 種類の録音 EQ の設定は変更できません。録音 EQ をお好みの設定に変更したい場合は、「USER」を選択してください。

プリセット録音 EQ を設定する

1. **[ALC] スイッチを [OFF] に切り換えます。**
2. **[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押し、録音するフォルダーを選択します。**
   A ～ D フォルダーを選択してください。
3. **[REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。**
   「STANDBY」(録音スタンバイ) 画面が表示されます。



4. **「STANDBY」画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押します。**
   録音 EQ 画面が表示されます。
5. **[⏮][⏭] ボタンを押して、お好みの録音 EQ を選択します。**
   8 つのプリセット録音 EQ と、自由に設定を変更できる「USER」から選択できます。

Hint:

・「USER」を選択した場合の EQ の設定方法は 20 ページをご覧ください。

6. **[MENU/ENTER] ボタンを押します。**
   選択した録音 EQ が設定されます。録音レベルを調整し、もう一度 [REC/PAUSE ◎] ボタンを押すと、録音が始まります (12 ページ)。

Note:

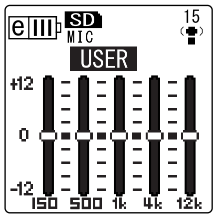
・途中で操作を中止するときは、[STOP/ESC ◻] ボタンを押してください。

録音 EQ をお好みで設定する

録音 EQ で「USER」を選択すると、録音 EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定できます。

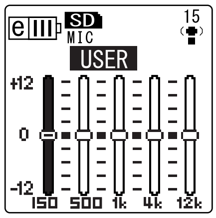
1. 録音 EQ 画面で「USER」を選択します。

「プリセット録音 EQ を設定する」(19 ページ)の手順 1 ～ 5 をご覧ください。



2. [VOL －] ボタンを押します。

150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。



3. [⏮][⏭] ボタンを押して、変更したい周波数帯を選びます。

選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

4. [VOL ＋ / －] ボタンを押して、選択した周波数帯の補正量を調整します。

－ 12dB ～＋12dB の範囲を 1dB 単位で調整できます。値が大きいほど録音レベルが大きくなり、その周波数帯が強調されます。

Note:

・他の周波数帯を変更する場合は、手順 3、4 の操作を繰り返してください。
・途中で操作を中止するときは、[STOP/ESC ◻] ボタンを押してください。

5. [MENU/ENTER] ボタンを押します。

録音 EQ の「USER」設定が完了します。録音レベルを調整し、もう一度 [REC/PAUSE ◎] ボタンを押すと、録音が始まります (12 ページ)。

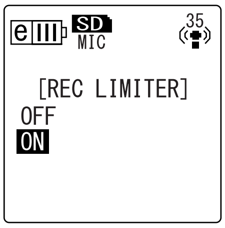
Note:

・録音 EQ の「USER」設定は、本機の電源を切ったり、電池交換を行なったりしても保存されます。ただし、電源を切らずに電池交換を行なった場合は、設定は保存されません。

録音ピークリミッターを設定する

録音ピークリミッターを「ON」に設定することにより、過大入力時の音の歪みを抑えることができます。通常は ON に設定して録音することをおすすめします。録音ピークリミッターは、ALC が「OFF」に設定されているときのみ機能します。

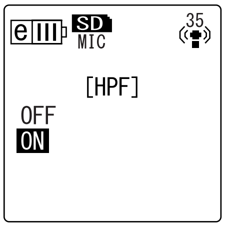
操作：
基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[REC MENU] → [REC LIMITER] → [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
録音ピークリミッターを解除するときは、「OFF」を選択してください。



ハイパスフィルター（HPF）を設定する

ハイパスフィルターを ON に設定することにより、低周波帯域をカットすることができます。周囲の話し声、風切り音などのノイズを低減して、音声をよりクリアに録音できます。

操作：
基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[REC MENU] →[HPF](ハイパスフィルター) → [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
ハイパスフィルターを解除するときは、「OFF」を選択してください。



ステレオワイド録音を設定する

STEREO WIDE(ステレオワイド) を ON に設定することにより、録音時にステレオ感が強調された、より広がりのある録音ができます。

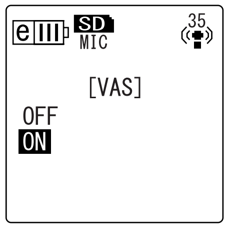
操作：
基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[REC MENU] → [STEREO WIDE](ステレオワイド)→ [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
ステレオワイドを解除するときは、「OFF」を選択してください。

音声を感知して自動録音する（VAS）

VAS（音声起動システム）を「ON」に設定することにより、録音待機状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始できます。音声が一定レベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）します。VAS は ALC が「ON」に設定されているときのみ機能します。

Note:
- 小さな音は録音しない場合がありますので、大切な録音をするときは、VAS を「OFF」にしてください。

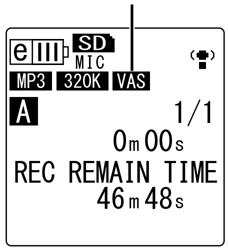
1. **基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[REC MENU] → [VAS] → [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



2. **[STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。**
   基本画面に VAS が表示されます。

3. **[REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。**
   音声を感知すると自動的に録音が始まります。
   音声を感知できない場合には、経過時間と VAS が点滅し、一時停止 (録音待機) 状態になります。

VAS 表示



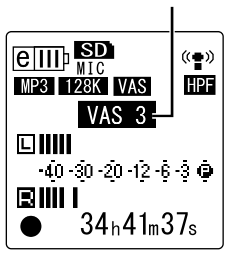
Note:
- 音声を感知しない場合や、録音が一時停止（録音待機）しない場合は、次に説明する「音声感知レベル（VAS 値）の設定」で調整してください。
- VAS が「ON」に設定されている状態で録音を開始すると、約 2 秒間は無条件に録音されます。

音声感知レベル（VAS 値）の設定

音声感知レベルは音量に応じて 5 段階（1 ～ 5）で調節できます。数字が大きくなるほど、音声感度が高くなり、小さな音でも録音が始まります。反対に数字が小さいと、音声を感知しない場合もあります。入力レベルに合わせてマイク感度（10 ページ）を設定しておくと、より効果的に VAS 機能を利用できます。

操作：
VAS「ON」で録音中に、[⏮][⏭] ボタンを押して、音声感知レベルを調節します。

VAS 値

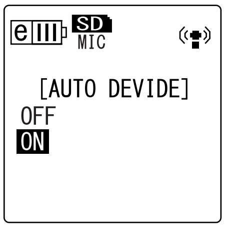


Note:
- ハイパスフィルターを「ON」に設定すると、低域の音をカットするため、録音が開始されない場合があります。その場合は、VAS を「OFF」に設定してください。

自動無音分割を設定する (AUTO DIVIDE)

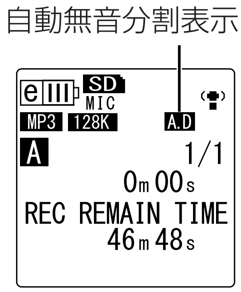
自動無音分割を設定することにより、CD プレーヤーなどからライン入力で音楽を録音するときに、自動で無音部分を感知してファイルを分割できます。2 秒以上の無音部分を感知して、録音を一時停止し、1 曲目をファイル 1、2 曲目をファイル 2 というように、自動的にファイルを分割して録音します。

1. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[REC MENU] → [AUTO DIVIDE] → [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



2. [STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。

基本画面に戻り A.D（自動無音分割）が表示されます。
自動無音分割を解除するときは、手順 1 で「OFF」を選択してください。



Note:

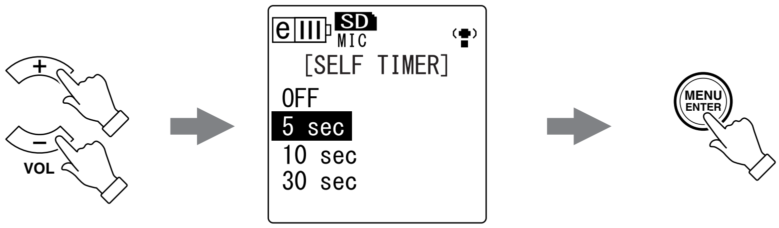
- ライブを収録した CD などで約 2 秒間の無音時間が認識されないときは、自動でファイルを分割できません。ファイル分割機能を使って分割してください（37 ページ）。
- 約 15 秒以上無音を感知すると、録音が自動的に停止します。

セルフタイマーで録音する

REC/PAUSE(録音 / 一時停止) ◎ ボタンを押してから録音を開始するまでの時間を設定できます。楽器の練習など、録音までの準備を一定時間必要とする録音に適しています。

1. **基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[REC MENU] → [SELF TIMER] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**

2. **[VOL ＋ / −] ボタンを押してセルフタイマー時間を、[5 sec](5 秒)、[10 sec](10 秒)、[30 sec](30 秒) からを選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



3. **[STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。**
基本画面に戻ります。

4. **側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、録音先のフォルダーを選択します。**

5. **[REC/PAUSE ◎] ボタンを押します。**
セルフタイマー待機画面が表示され、手順 2 で設定した時間のカウントダウンが始まります。(LED が点滅します)

Note:
・ALC スイッチがオフの場合は、録音 STANDBY(スタンドバイ) モードになります。録音レベルを調整してから、再度 [REC/PAUSE ◎] ボタンを押してください。

6. **手順 2 で設定した時間が経過すると、録音が始まります。**

Note:
・一度セルフタイマー録音を開始すると、自動的にセルフタイマー録音の設定が「OFF」に戻ります。

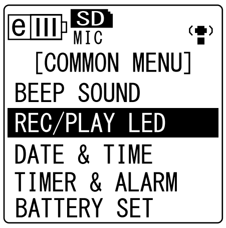
Hint:
・カウントダウン中に [STOP/ESC ◻] ボタンを押すと、セルフタイマーをキャンセルできます。

LED の設定を変更する

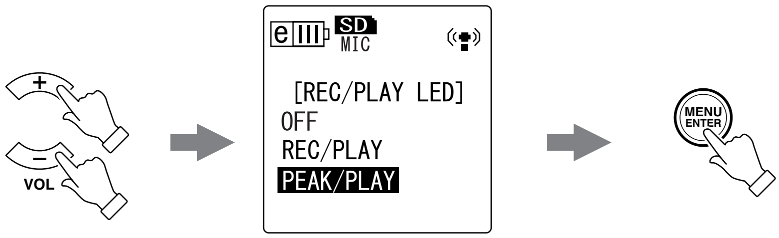
録音 / 再生時に LED を点灯させない設定 (OFF)、録音 / 再生時に LED を点灯させる設定 (REC/PLAY)、録音ピーク LED として LED を点灯させる設定 (PEAK/PLAY) ができます。

録音ピーク LED として設定した場合は、録音中の過大入力時に LED が赤色に点灯します。

1. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、[COMMON MENU] → [REC/PLAY LED] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



2. [VOL ＋ / －] ボタンを押して [OFF]、[REC/PLAY]、[PEAK/PLAY] から選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



[OFF]	録音中、再生中ともに LED が消灯します。
[REC/PLAY]	録音中 (赤色)、再生中 (緑色) ともに LED が点灯します。録音中の過大入力時には LED が消灯します。
[PEAK/PLAY]	録音中の過大入力時に LED が点灯します (赤色)。録音の通常状態時は LED が消灯します。再生中は LED が点灯します (緑色)。

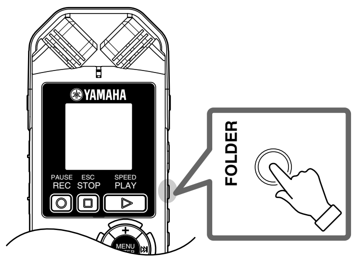
3. [STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

再生する

ファイルを再生する

本機では、MP3 形式、WMA 形式および本機で録音した WAV 形式のファイルを再生できます。本機で録音したファイルを再生する場合は、VOICE(A ～ D) または LINE(L) フォルダーを選択してください。コンピューターから取り込んだファイルを再生する場合は、MUSIC(M) フォルダーを選択してください。

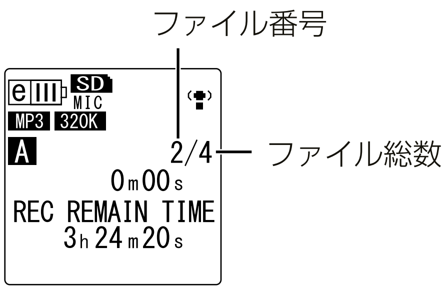
1. 基本画面で側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、再生するフォルダーを選びます。



Hint:

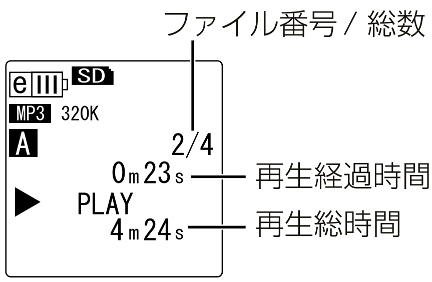
・[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押すたびに、フォルダーが切り換わります。

2. [⏮] [⏭] ボタンを押して、再生したいファイル番号を選びます。



3. [PLAY/SPEED ▷] ボタンを押します。

再生が始まります。



4. [VOL ＋ / －] ボタンを押して、適切な音量で再生されるように調整します。

音量は 21 段階 (0 ～ 20) で表示されます。

5. [STOP/ESC ◻] ボタンを押して、再生を停止します。
もう一度 [PLAY/SPEED ▷] ボタンを押すと、停止した位置から再生が始まります。

Hint:
・リスト表示画面から各フォルダーのファイルを再生することもできます（8 ページ）。

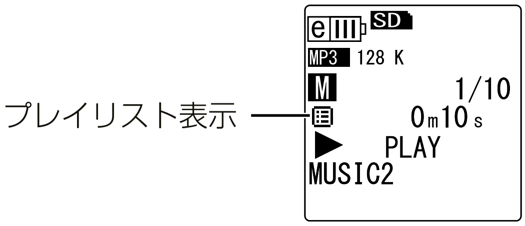
プレイリストを再生する

Hint:
・プレイリストの作成については、66 ページをご覧ください。

1. 基本画面で側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、[M] フォルダーを選びます。

2. [⏮][⏭] ボタンを押して再生したいプレイリストを選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

3. [PLAY/SPEED ▷] ボタンを押します。
プレイリストの曲順で再生します。

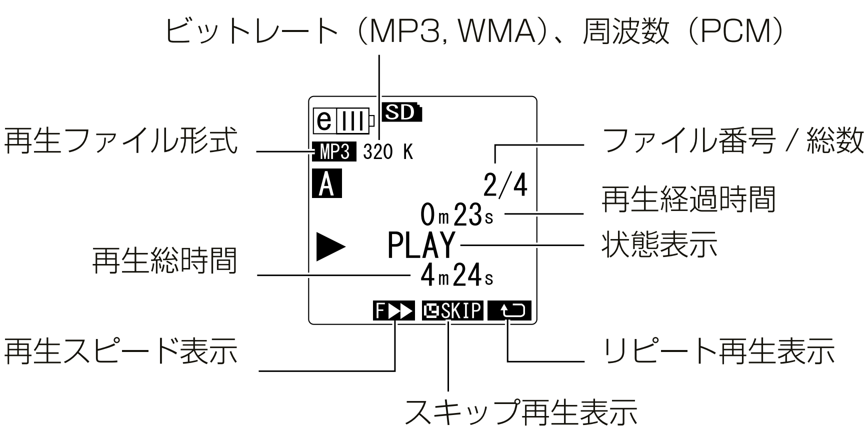


通常再生に戻すには、停止中に [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押してください。

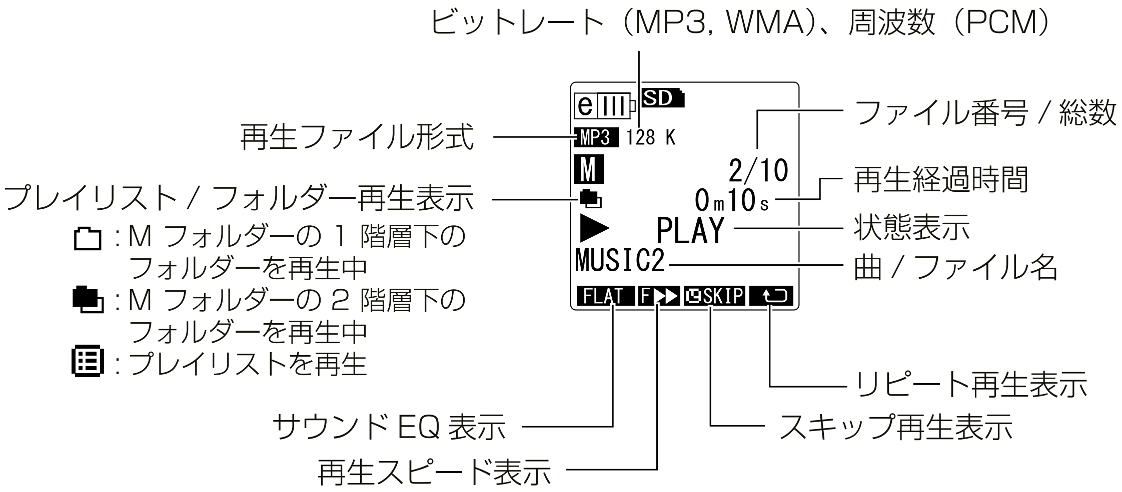
Note:
・プレイリストの内容（ドライブ名、フォルダー名、ファイル名など）に誤りがある場合は、再生できません。

再生中の画面表示

・VOICE（A ～ D）フォルダー、LINE（L）フォルダー



・MUSIC（M）フォルダー



Note:

・ファイルによって、再生経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。また、登録されたアーティスト名や曲名などが表示されないことがあります。

早送り、巻き戻しする

■ 早送り / 巻き戻しする

再生中、［▶▶|］ボタンを押し続けると早送りします。［|◀◀］ボタンを押し続けると巻き戻しします。
ボタンを離すとその位置から再生を開始します。

■ ファイルの頭出しをする

再生中または停止中に［▶▶|］ボタンを押すと、次のファイルに移動します。
［|◀◀］ボタンを押すと、一つ前のファイルに戻ります。

■ インデックスの頭出しをする

インデックスを付けたファイルの再生中に［▶▶|］ボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
［|◀◀］ボタンを押すと、一つ前のインデックスに戻ります。

Hint:

・インデックスの設定については 40 ページをご覧ください。

ヘッドフォンを使用する

周囲に音を出したくないときや、スピーカーからの再生音が聞き取りにくいときに使用します。ヘッドフォンは、本機側面のヘッドフォン端子に接続してください。

サウンド EQ 機能（34 ページ）を設定することにより、ヘッドフォンを使ってより良い音質で音楽を聴くことができます。

Note:

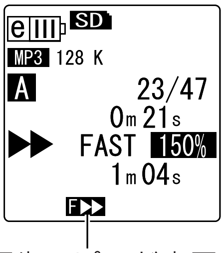
・サウンド EQ 機能はヘッドフォンでの再生時のみ有効です。

再生に関する設定

再生スピードを変える

再生スピードを遅くしたり、早くしたりすることができます。楽器演奏の聞き取りにくい箇所は再生スピードを遅く、会議の内容は早くと必要に応じて再生スピードを調節して聞くことができて便利です。

1. **再生中に [PLAY/SPEED ▷] ボタンを押します。**
押すごとに再生スピードが「PLAY」(通常) →「SLOW」(遅い) →「FAST」(早い) →「PLAY」(通常) の順に切り換わり、画面にアイコン表示されます。



再生スピード表示（FAST）

再生スピードは、下記のようにファイル形式によって異なります。

	PLAY(通常)	SLOW(遅い)	FAST(早い)
アイコン表示	なし	S ❙▶	F ▶▶
MP3	100%	70%	150%
WMA	100%	70%	120%

変更した再生スピードは、再生を停止してもそのまま保持され、次回以降の再生でも変更したスピードで再生されます。ただし、電源を切ると通常のスピードに戻ります。

Note:
・再生スピードを切り換えることができるのは、MP3 と WMA 形式のファイルのみです。PCM(WAV) 形式のファイルは再生スピードを切り換えることができません。
・ファイルによっては、再生スピードを切り換えると正常に再生されない場合があります。

ファイルの中で設定した時間を早送り / 巻き戻して再生する

ファイル内の不要な部分を飛ばして（スキップして）再生したり、時間を設定して聞きたい部分だけを繰り返して聞いたりできます。本機では、スキップ再生 (再生位置をすばやく移動)、A-B リピート再生（部分的に繰り返し再生）、フレーズ再生（設定した秒数だけ巻き戻し）の 3 つの機能が利用できます。

スキップ再生をする

再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけ早送りしたり、巻き戻ししたりして再生できます。再生位置をすばやく移動するときに便利です。

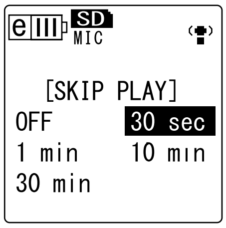
1. 再生中に [▶▶|] ボタンまたは [|◀◀] ボタンを押します。
設定された時間を早送りまたは巻き戻しします。

Note:
・フォルダーをまたがっての「早送り / 巻き戻し」はできません。
・設定したスキップ時間より短い位置に、次のファイルの先頭やインデックスマークがある場合は、その位置にスキップします。

■ スキップ再生の時間を設定する

1. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを２秒以上押し、[PLAY MENU] → [SKIP PLAY] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

2. [VOL ＋ / －] ボタンを押してスキップする時間を「30 sec(秒)」、「1 min(分)」、「10 min(分)」、「30 min(分)」から選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



3. [STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻り、画面右下に SKIP が表示されます。

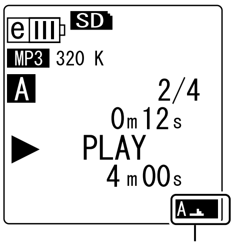
Hint:
・再生中でも MENU(メニュー) 画面を開いてスキップ再生の設定ができます。

A-B リピート（部分リピート）再生をする

再生中のファイルの一部分（A 点から B 点まで）を指定し、繰り返し再生することができます。

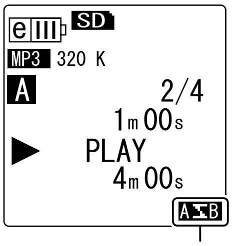
1. 再生中に、A-B リピート再生する開始位置（A 点）で [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押します。

開始位置表示が点灯します。



2. A-B リピート再生する終了位置（B 点）で再度 [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押します。

終了位置が決まり、A-B リピート再生を解除するまで繰り返し再生します。



A-B リピート再生を解除するには、A-B リピート再生中に次の操作のいずれかを行なってください。

・もう一度［FOLDER/A-B REPEAT］ボタンを押す
・[STOP/ESC ◻] ボタンを押す
・[⏮][⏭] ボタンを押す

Note:
・A 点と B 点の間隔が短すぎる場合、A-B リピートの設定ができません。
・A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾が B 点になります。

フレーズ再生をする

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

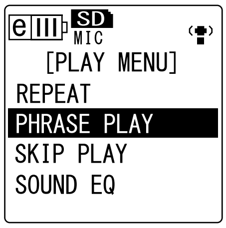
1. 再生中に［EDIT/PHRASE］ボタンを押します。

あらかじめ設定した秒数だけ戻って再生します。

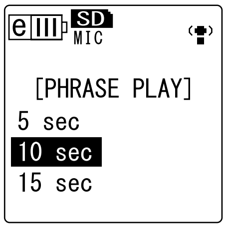
Note:
・A-B リピートを行なっている場合は A-B リピート設定区間内でフレーズ再生を行ないます。
・戻す秒数が、現在の再生位置より長い場合はファイルの先頭から再生します。
・最大で、再生中ファイルの先頭まで戻りますが、ファイルをまたいで（1 つ前のファイルに）戻ることはありません。

■ フレーズ再生の時間を変更する

1. 基本画面で[MENU/ENTER]ボタンを2秒以上押し、[PLAY MENU] → [PHRASE PLAY] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



2. [VOL + / −] ボタンを押して [5 sec](5 秒)、[10 sec](10 秒)、[15 sec](15 秒) から、戻して再生したい秒数を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



3. [STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

Hint:
・再生中でも MENU(メニュー) 画面を開いてフレーズ再生の設定ができます。

同じファイルを繰り返し再生する

ファイルをリピート再生 (繰り返し再生) することができます。同じファイルを何度も繰り返したり、フォルダー内のファイルを順に再生したり、もしくはランダムに再生したり、いろいろなリピート再生が選べます。

■ リピートモードを設定する

1. 基本画面で[MENU/ENTER]ボタンを2秒以上押し、[PLAY MENU] → [REPEAT] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

2. [VOL + / −] ボタンを押して [OFF]、[ONE]、[ALL]、[RANDOM] から、リピートモードを選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

[OFF]	リピート再生しません。
[ONE]	選択している曲を繰り返し再生します。
[ALL]	フォルダー内のすべての曲を繰り返し再生します。(フォルダーをまたがっての再生はできません)
[RANDOM]	フォルダー内のすべての曲を順不同に並べ換えて繰り返し再生します。(フォルダーをまたがっての再生はできません)

3. [STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻り、右下にリピートモードのアイコンが表示されます。

1⮌	ONE
⮌	ALL
RND	RANDOM

4. [PLAY/SPEED ▷] ボタンを押します。
設定されているリピートモードで再生されます。
リピート再生を中止するときは、リピートモードの設定で「OFF」を選択してください。

Hint:
・再生中でも MENU(メニュー) 画面を開いてリピート再生の設定ができます。

クリアボイス再生をする

雑音やノイズがある音声を再生する場合、クリアボイス機能を使うことで、音声が聞きやすくなります。クリアボイスは音声録音用フォルダー VOICE（A ～ D）内のファイルでのみ設定できます。LINE（L）、MUSIC（M）およびごみ箱（🗑）フォルダー内のファイルでは設定できません。

1. 再生中に側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを 2 秒以上押します。
クリアボイス機能が設定されます。

再度、[FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを 2 秒以上押すと、設定が解除されます。

Note:
・PCM 48/44.1kHz、MP3 320/192/128 kbps モードで録音した音声の再生時に使うと、より効果的です。
・録音状況によっては、ノイズが軽減しない場合があります。

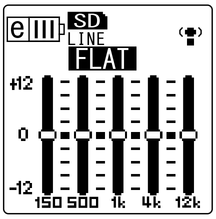
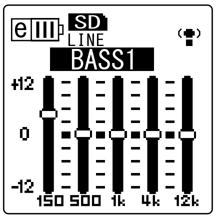
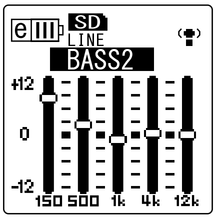
サウンド EQ(イコライザー) を設定する (M、L フォルダーのみ)

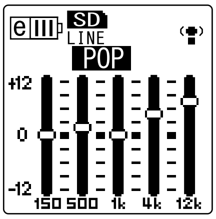
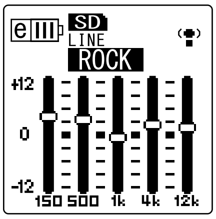
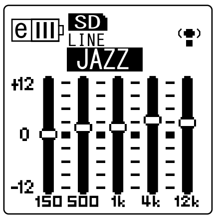
サウンド EQ を設定することにより、お好みの音質で音楽をお楽しみいただけます。サウンド EQ は、MUSIC（M)、LINE（L）フォルダー内のファイルをヘッドフォンで再生するときのみ有効です。

サウンド EQ モードについて

あらかじめプリセットされている「FLAT」、「BASS1」、「BASS2」、「POP」、「ROCK」、「JAZZ」の 6 種類のサウンド EQ モードと、5 バンドの補正量を自由に設定できる「USER」から選択することができます。

プリセットサウンド EQ の特徴

FLAT	BASS1	BASS2
		
「サウンド EQ」機能を使わず、原音のまま再生します。	低音域をやや強調します。	低音域をより強調します。

POP	ROCK	JAZZ
		
高音域をより強調します。	低音域と高音域をやや強調します。	中音域を強調します。

Note:

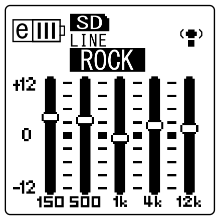
・プリセットされている 6 種類のサウンド EQ の設定は変更できません。サウンド EQ をお好みの設定に変更したい場合は、「USER」を選択してください。

プリセットサウンド EQ モードを設定する

1. **基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを２秒以上押し、[PLAY MENU] → [SOUND EQ] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**

2. **[|◀◀][▶▶|] ボタンを押して、お好みのサウンド EQ を選択します。**

6 つのプリセットサウンドEQ と、自由に設定を変更できる「USER」から選択できます。



Hint:

・「USER」を選択した場合の EQ の設定方法は 36 ページをご覧ください。

3. **[MENU/ENTER] ボタンを押します。**

選択したサウンド EQ が設定されます。

4. **[STOP/ESC □] ボタンを押します。**

基本画面に戻ります。

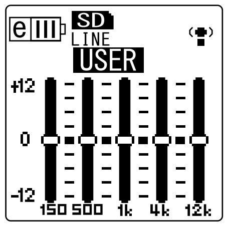
Hint:

・再生中でも MENU(メニュー) 画面を開いてサウンド EQ の設定ができます。

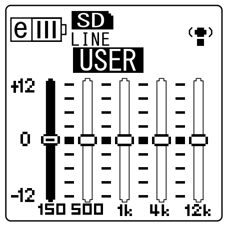
サウンド EQ をお好みで設定する

サウンド EQ で「USER」を選択すると、サウンド EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定できます。

1. サウンド EQ 設定で「USER」を選択します。
「プリセットサウンド EQ モードを設定する」（35 ページ）の手順 1、2 をご覧ください。



2. [VOL −] ボタンを押します。
150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。



3. [⏮][⏭] ボタンを押して、変更したい周波数帯を選びます。
選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

4. [VOL ＋ / −] ボタンを押して、選択した周波数帯の補正量を調整します。
− 12dB ～＋12dB の範囲を 1dB 単位で調整できます。値が大きいほど再生レベルが大きくなり、その周波数帯が強調されます。

Note:
・他の周波数帯を変更する場合は、手順 3、4 の操作を繰り返してください。
・途中で操作を中止するときは、[STOP/ESC ◻] ボタンを押してください。

5. [MENU/ENTER] ボタンを押します。
サウンド EQ の「USER」設定が完了します。

6. [STOP/ESC ◻] ボタンを 2 回押します。
基本画面に戻ります。

編集する

ファイルを分割する

本機で録音した VOICE（A ～ D）または LINE（L）フォルダー内にある 1 ファイルを 2 つに分割して、不要部分の削除や必要部分の抜き出しができます。

必ず実行

分割したファイルは、元に戻せません。分割する前に必ずコンピューターなどの外部機器にバックアップをとってください。

1. **基本画面で側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押し、分割したいファイルのあるフォルダーを選びます。**

2. **[⏮][⏭] ボタンを押して分割したいファイルを選び、[PLAY/SPEED ▷] ボタンを押します。**
再生が始まります。

3. **分割したい場所で [STOP/ESC □] ボタンを押します。**
再生が停止します。

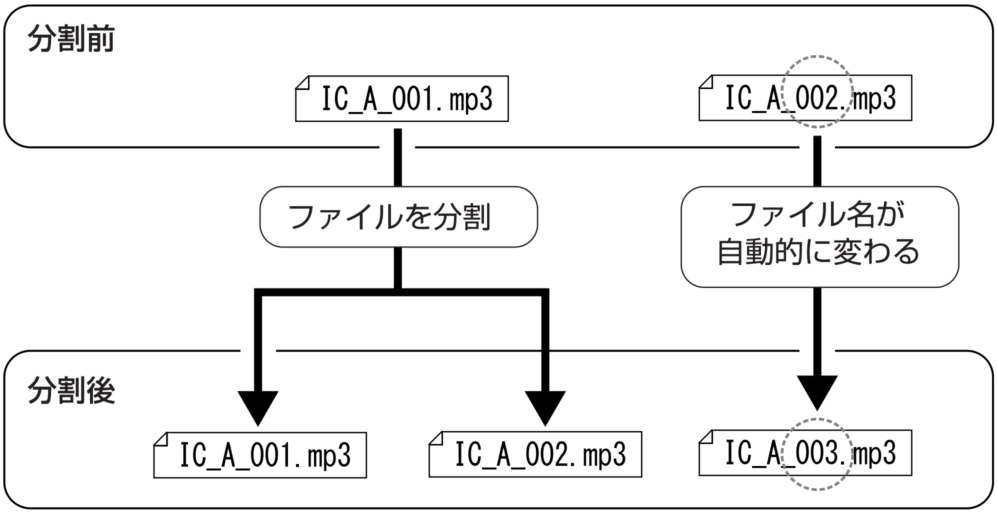
4. **側面にある [EDIT/PHRASE] ボタンを押し、[VOL ＋ / －] ボタンを押して [DIVIDE]（ファイル分割）を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**

5. **[⏮][⏭] ボタンを押して [YES] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**
「DIVIDING...」→「DIVIDE COMPLETED !」が表示され、ファイル分割が完了します。
ファイル分割が完了するとフォルダー内のファイルの数が 1 つ増えます。

Note:

・分割可能なファイルは本機で録音した MP3 ファイルおよび WAV ファイルです。
・録音時間が短すぎる場合は、画面に“CANNOT DIVIDE AT THIS POINT!”と表示され、ファイルを分割できません。また、MUSIC(M) フォルダーおよびごみ箱フォルダー内のファイルは、ファイル分割できません。
・インデックス (40 ページ）を付けたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。

■ 分割後のファイル名について



“IC_A_001.MP3” ファイルを分割すると、“IC_A_002.MP3” ファイルが新たに作成されます。フォルダー内に同じファイル名のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルの名称が自動的に変わります。

■ 分割した部分の重複時間、および分割に必要な録音時間

分割したファイルは、以下の表のように、分割前後の録音部分が重複します。またファイルを分割するには、重複時間の 2 倍以上の録音時間が必要です。

<table>
<tr><th colspan="2">録音モード</th><th>重複する時間</th><th>必要な録音時間</th></tr>
<tr><td rowspan="5">MP3</td><td>32kbps</td><td>約 8 秒</td><td>約 16 秒以上</td></tr>
<tr><td>64kbps</td><td>約 4 秒</td><td>約 8 秒以上</td></tr>
<tr><td>128kbps</td><td>約 2 秒</td><td>約 4 秒以上</td></tr>
<tr><td>192kbps</td><td rowspan="4">約 1 秒以下</td><td rowspan="4">約 2 秒以上</td></tr>
<tr><td>320kbps</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PCM</td><td>44.1kbps</td></tr>
<tr><td>48kbps</td></tr>
</table>

フェードイン / フェードアウトさせる

本機の PCM(WAV) 形式で録音したファイルにフェードイン / フェードアウト効果を追加することができます。フェードインはファイルの先頭 4 秒間の音量を徐々に上げ、フェードアウトはファイルの最後 4 秒間の音量を徐々に下げます。

必ず実行

フェードイン / フェードアウト効果を追加したファイルは元に戻せません。効果を追加する前に、必ずコンピューターなどの外部機器にバックアップをとってください。

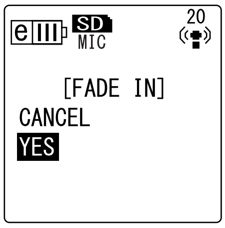
フェードインさせる

1. 基本画面で側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押し、フェードインしたいファイルのあるフォルダーを選びます。

2. [⏮][⏭] ボタンを押してフェードインしたいファイルを選び、側面にある [EDIT/PHRASE] ボタンを押します。

3. [VOL ＋ / －] ボタンを押して [FADE IN] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

4. [VOL ＋ / －] ボタンを押して [YES] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
「FADE IN EXECUTING...」(フェードイン実行中) が表示されます。



Note:
・本機で PCM 録音したファイル以外を選択していた場合や 4 秒以下のファイルを選択していた場合、「CANNOT FADE IN!」(このファイルはフェードインできません) と表示されます。

5. [COMPLETED](完了) の画面が表示されたら、[VOL ＋ / －] ボタンを押して [AUDITION](試聴) を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
フェードイン効果を追加した状態のファイルが再生されます。

[AUDITION](試聴)	フェードイン効果を追加した状態で冒頭部分を最長約 10 秒間試聴できます。
[SAVE](上書保存)	フェードイン効果を確定します。確定後はフェードイン前の状態に戻すことができません。
[CANCEL](取消)	フェードイン効果を取消します。

6. **試聴した内容で保存する場合は、[VOL ＋ / −] ボタンを押して [SAVE] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**
フェードイン効果のついたファイルが元のファイルに上書きされます。
ファイルを上書き保存しない場合は、[CANCEL] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押してください。

Note:
・microSD カードに空きの容量がない場合は、ファイルをフェードイン / フェードアウトできません。

フェードアウトさせる

操作手順はフェードインと同じですので、「フェードインさせる」（39 ページ）をご覧ください。**ただし、フェードアウトの場合は、手順 3 で [FADE IN] ではなく [FADE OUT] を選んでください。**

インデックスを付ける / 消去する

インデックスを付けると早送り、巻き戻し、および再生時に頭出し操作ができます。インデックスを付けることができるのは、VOICE（A ～ D）フォルダー内のファイルのみです。

インデックスを付ける

1. **録音中または再生中、インデックスを付けたい位置で側面にある [LIST/INDEX] ボタンを押します。**
「INDEX SETTING...」(インデックス記録中 ...) が表示され、その箇所にインデックスが付きます。

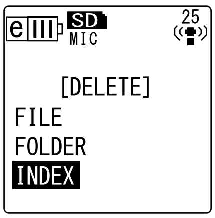
Note:
・インデックスを付けたあとも、録音または再生は続きますので、同様の操作で別の箇所にインデックスを付けることができます。
・インデックスは 1 ファイルに最大 36ヶ所付けることができます。36ヶ所を超えると「INDEX FULL !」(インデックスが一杯です) と表示され、記録されません。
・インデックスを付けたファイルをファイル分割するとインデックスは消去されます。

インデックスを消去する

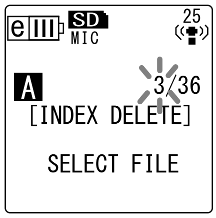
1. **基本画面で側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押し、インデックスを消去したいファイルのあるフォルダーを選びます。**

2. **側面にある [DEL] ボタンを押します。**

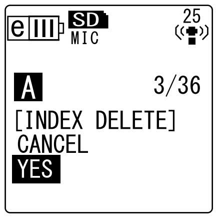
3. **[VOL ＋ / −] ボタンを押して [INDEX] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



4. **[⏮][⏭] ボタンを押して、インデックスを消去するファイルを選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**
選択したファイル番号が点滅します。



5. **[VOL + / −] ボタンを押して [YES] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**
「DELETING...」(消去実行中 ...) が表示され、インデックスが消去されます。



Note:

・インデックスを消去しても音声は消去されません。
・ファイル内の個別のインデックス消去はできません。ファイル内のすべてのインデックスを消去します。
・インデックス付きのファイルを消去すると、ごみ箱機能（42 ページ）が「オン」の場合でもインデックスは消去されてしまうため、元のフォルダーに戻したとき、そのファイルのインデックス情報はなくなります。

消去する

ごみ箱（RECYCLE BIN）について

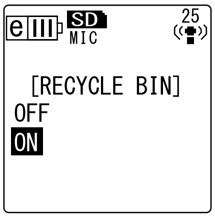
ごみ箱機能がオンのときに本機で消去したファイルは、一時的にごみ箱（ 🗑 ）フォルダーに移動し、必要なときに元に戻すことができます。ごみ箱機能がオフのときにファイルやフォルダーを消去すると、データは完全に消去され、元に戻すことができません。誤消去防止のために、ごみ箱機能をオンにすることをおすすめします。

Note:

・ごみ箱フォルダーの最大ファイル数は 500 ファイルです。ごみ箱フォルダーがいっぱいでファイルをごみ箱に移動できない場合は、ごみ箱フォルダー内のファイルを元のフォルダー内に戻す（43 ページ）か、ごみ箱フォルダーを空にしてください（44 ページ）。

ごみ箱機能を設定する

1. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを２秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [COMMON MENU] → [RECYCLE BIN]（ ごみ箱機能 ） → [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
ごみ箱機能が設定されます。



2. [STOP/ESC □] ボタンを２回押すと、基本画面に戻ります。

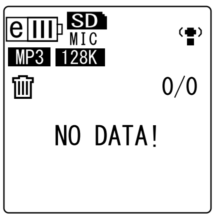
Note:

・ごみ箱フォルダーに移動できるのは、VOICE（A ～ D）および LINE（L）フォルダーのファイルのみです。MUSIC(M) フォルダーのファイルは、ごみ箱機能設定がオン / オフにかかわらず、ごみ箱フォルダーに移動しません。ファイルを消去すると、本機から完全に消去されます。
・microSD カードを初期化した場合は、すべてのファイルが消去されます (ごみ箱フォルダーに移動しません)。ごみ箱にあるファイルもすべて消去されます。
・ごみ箱フォルダーにファイルを移動すると、そのファイルのインデックスは自動的に消去されます。
・ごみ箱機能がオンのときにファイルを削除しても、録音残時間表示は増えません。

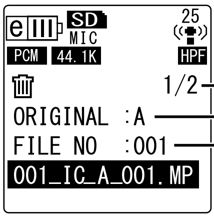
ごみ箱フォルダーの表示について

基本画面で、側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、ごみ箱（ 🗑 ）フォルダーを選びます。

・ファイルがない場合



・ファイルがある場合



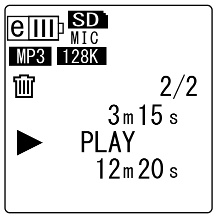
ごみ箱フォルダー内のファイル番号 / ファイル総数
消去前に保存されていたフォルダー
消去前のファイル番号

ごみ箱に移動したファイルのファイル名は自動的に変更されます（59 ページ）。

ごみ箱フォルダー内のファイルを再生する

1. 基本画面で、側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、ごみ箱（🗑）フォルダーを選びます。

2. [⏮][⏭] ボタンを押してファイルを選び、[PLAY/SPEED ▷] ボタンを押します。
選択したファイルが再生されます。



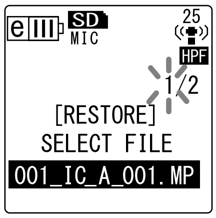
ごみ箱フォルダー内のファイルを元に戻す

1. 基本画面で、側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、ごみ箱（🗑）フォルダーを選びます。

2. 側面にある [DEL] ボタンを押します。

3. [VOL +/−] ボタンを押して [RESTORE]（一件戻す）を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

4. [RESTORE]（1 件戻す）画面が表示されたら、[⏮][⏭] ボタンを押して、ファイルを選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
選択したファイル番号が点滅します。



5. [VOL + / −] ボタンを押して [YES] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
「RESTORING...」（ごみ箱からファイルを戻しています ...）→「RESTORED TO THE BOTTOM OF A」（A フォルダーの末尾にファイルを戻しました）画面が表示され（消去前の元の場所が A フォルダーの場合）、ファイルが元のフォルダーに戻ります。

Note:
- ごみ箱内のファイルを元に戻した場合、ファイル名が変わり、元のフォルダーの最後尾に復元されます（38 ページ）。
- 「FOLDER FULL!」（フォルダーが一杯です。ファイルを戻せません）と表示された場合は、元のフォルダーのファイル数が制限数に達しています。ファイルを消去して空き容量を増やしてください。

6. **もう一度 [MENU/ENTER] ボタンを押します。**
基本画面に戻ります。

ごみ箱フォルダーを空にする

1. **基本画面で、側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、ごみ箱（ ）フォルダーを選びます。**

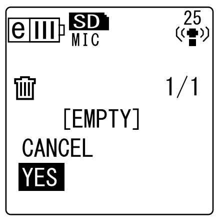
2. **側面にある [DEL] ボタンを押します。**

3. **[VOL ＋/－]ボタンを押して[EMPTY](空にする)を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**

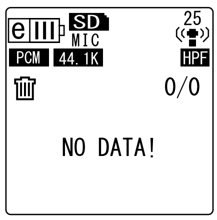
必ず実行

ごみ箱を空にすると、ごみ箱内のファイルは完全に microSD カードから削除されます。元に戻すことはできませんので、空にする前に、必要なデータはコンピューターなどの外部機器にバックアップをとってください。

4. **[VOL ＋ / －] ボタンを押して [YES] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



「EMPTYING...」(ごみ箱を空にしています ...）と表示されたあと、「NO DATA!」(ごみ箱は空です) が表示され、ごみ箱が空になります。



Note:
- ごみ箱フォルダーにファイルが多くたまると、動作が低下するおそれがあります。定期的にごみ箱を空にすることをおすすめします。

ファイルを消去する

フォルダー内のファイルを 1 つ選んで消去します。

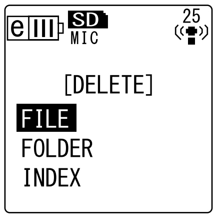
必ず実行

- **ごみ箱機能がオフの場合 (42 ページ)、一度消去したファイルは元に戻すことができませんので、消去前に必ずファイル内の録音内容を確認してください。**
- **操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。**

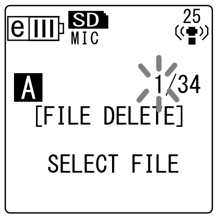
1. 基本画面で、側面にある [FOLDER/A-B REPEAT] ボタンを押して、消去するファイルのあるフォルダーを選びます。

2. 側面にある [DEL] ボタンを押します。

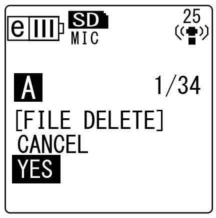
3. [VOL ＋ / －] ボタンを押して [FILE] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



4. [FILE DELETE] (1 件消去) 画面が表示されたら、[⏮][⏭] ボタンを押して、消去するファイルを選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
選択したファイル番号が点滅します。



5. [VOL ＋ / －] ボタンを押して [YES] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
「DELETING...」(消去実行中 ...) が表示され、ファイルが消去されます。



Note:

- 消去を実行しないときは [CANCEL] を選択し、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
- 消去実行中は、取り消しはできません。

ごみ箱機能を ON に設定している場合は、ファイルはごみ箱に移動されます。「MOVED TO RECYCLE BIN」(ごみ箱に移しました) と表示されますので [OK] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押してください。

Note:

- 「RECYCLE BIN FULL!」(ごみ箱が一杯です) と表示された場合は、ごみ箱フォルダーのファイルが一杯になっています。ごみ箱を空にしたあとで、ファイルを消去してください。

フォルダーを消去する

フォルダー内の全ファイルを消去します。

必ず実行

- **ごみ箱機能がオフの場合 (42 ページ)、一度消去したフォルダーは元に戻すことができませんので、消去前に必ずフォルダー内の録音内容を確認してください。**
- **操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。**

操作手順はファイルの消去と同じですので、「ファイルを消去する」(45 ページ)をご覧ください。**ただし、フォルダーの場合は、手順 3 で [FILE] でなく [FOLDER] を選んでください。**

Note:
- MUSIC(M) フォルダーのサブフォルダー(58、59 ページ)は消去できません。本機をコンピューターに接続し、コンピューター上で消去してください。

microSD カードを初期化する (全データの消去)

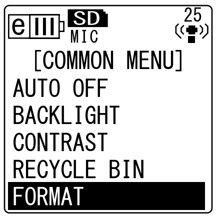
microSD カードを初期化すると、ごみ箱機能がオンの場合でもすべてのファイルが完全に消去されます。

また、市販の microSD カードを本機ではじめて使う場合も、初期化が必要です。

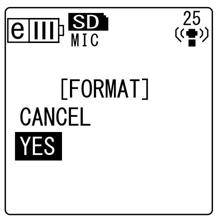
必ず実行

- **一度消去したファイルは元に戻すことができませんので、消去前に必ず microSD カード内の録音内容を確認してください。**
- **大切なデータは、必ずコンピューターなどの外部機器にバックアップをとってください。**
- **操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。**

1. **基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [COMMON MENU] → [FORMAT] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



2. **[VOL ＋ / －] ボタンを押して [YES] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**
「FORMATTING...」(初期化実行中 ...)→「FORMAT COMPLETED!」(初期化の完了 !)が表示され、microSD カード内の全データが消去されます。



Note:
- 初期化を実行しないときは [CANCEL] を選択し、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
- 初期化実行中は、取り消しはできません。

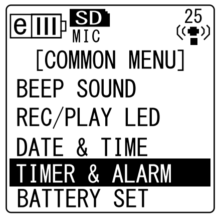
3. **[STOP/ESC ◻] を 2 回押します。**
基本画面に戻ります。

タイマー機能を使う

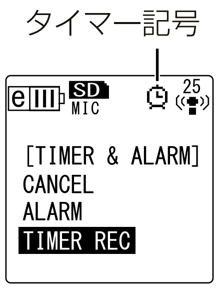
タイマー録音をする

あらかじめ設定した時間に録音を行なう機能です。操作前に現在の日時が設定されていることを確認してください (9 ページ)。

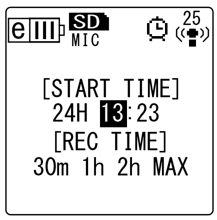
1. 基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [COMMON MENU] → [TIMER & ALARM] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



2. [VOL ＋ / －] ボタンを押して [TIMER REC](タイマー録音設定) を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
タイマー記号が表示されます。

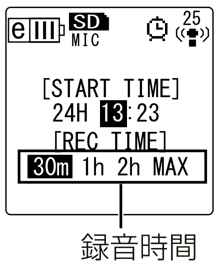


3. [START TIME](録音開始時刻) を設定します。
[⏮][⏭] ボタンを押して「時」、「分」を選択し、[VOL ＋ / －] ボタンを押して、数値を変更したあと、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

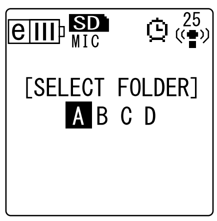


Note:
・設定できる時刻は、現在の時刻から 24 時間以内のみです。

4. [REC TIME](録音時間) を設定します。
[⏮][⏭] ボタンを押して録音時間を 30m(30 分)、1h(1 時間)、2h(2 時間)、MAX(録音残時間がなくなるまで) を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



5. [SELECT FOLDER](フォルダー指定)画面が表示されたら、[⏮][⏭] ボタンを押して、録音するフォルダーを選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
タイマー録音が設定されました。設定時刻になると自動的に録音が始まり、指定したフォルダー内に新しいファイルが作成されます。（タイマー録音中はタイマー記号（⏰）が点滅します。）



Note:
・LINE（L）、MUSIC（M）フォルダーおよびごみ箱（🗑）フォルダーは選択できません。

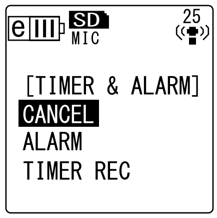
6. **[STOP/ESC ■] ボタンを 2 回押します。**
基本画面に戻ります。

Note:
・画面のタイマー記号に×印（ ）が表示されると、下記の理由などにより録音されません。
- 録音残時間がない
- 指定したフォルダー内のファイルが 199 あるとき
- 再生中
- 録音中
- メニュー設定中

・タイマー記号（ ）を消すには、タイマー録音を解除してください。
・タイマー録音は一度実行すると、設定は解除されます。
・タイマー録音とアラームは同時に使うことができません。

■ タイマー録音を解除する

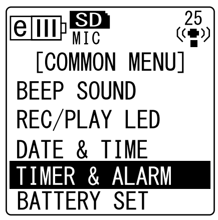
「タイマー録音をする」の手順 2 で [CANCEL] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



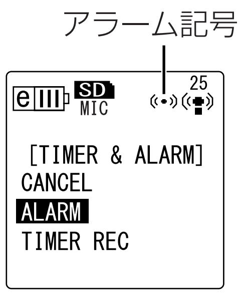
アラームを設定する

あらかじめ設定した時刻にアラーム音を鳴らす機能です。アラーム音の他に、お好みの音楽などを再生することができます。操作前に日時が設定されていることを確認してください（9 ページ）。

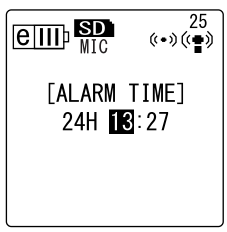
1. **基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [COMMON MENU] → [TIMER & ALARM] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



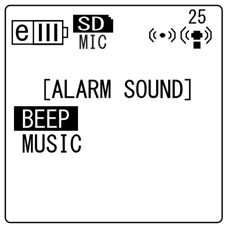
2. **[VOL ＋/ －] ボタンを押して [ALARM]（アラーム設定）を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**
アラーム記号が表示さます。



3. **[ALARM TIME]（アラーム時刻）を設定します。**
[|◀◀][▶▶|] ボタンを押して「時」、「分」を選択し、[VOL ＋ / －] ボタンを押して、数値を変更したあと、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



4. **[VOL +/−]ボタンを押してアラームに設定する音を[BEEP] または [MUSIC] から選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



[BEEP]	アラーム（ビープ音）
[MUSIC]	ALARM フォルダー内の音楽ファイル再生

Note:

・アラームの代わりにお好みの音楽を鳴らしたい場合は、あらかじめコンピューターに接続して ALARM フォルダー（58 ページ）に MP3 または WMA 形式の音楽ファイルを 1 つ入れ、ここで [MUSIC] を選択してください。ファイルがないと、音楽ファイルの代わりにアラーム音が鳴ります。また、本機が適切な音量になっていることを確認してください。音量が「0」になっている場合は、設定時刻になっても音が鳴りません。

5. **[STOP/ESC □] ボタンを 2 回押します。**

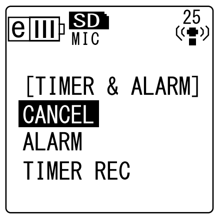
アラームが設定されました。
設定時刻になると、BEEP の場合はビープ音が鳴り (約 10 秒)、MUSIC の場合は ALARM フォルダー内の音楽ファイルが再生されます（1 曲終わるまで）。

Note:

・アラーム動作中はアラーム記号（((•))）が点滅します。
・[STOP/ESC □] ボタンを押すと、アラーム音が停止します。
・設定時刻は、現在の時刻から 24 時間以内のみ設定できます。
・アラームは一度実行すると、設定は解除されます。
・タイマー録音とアラームは同時に使うことができません。

■ アラーム設定を解除する

手順 2 で [CANCEL] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
アラーム記号（((•))）が消えます。



メニューを設定する

設定メニュー一覧

設定メニューは [REC MENU](録音設定)、[PLAY MENU](再生設定)、[COMMON MENU](共通設定) の 3 つの項目に分類されています。

■ [REC MENU] (録音設定)

設定項目	設定内容	参照ページ
[REC MODE]（録音モード）	録音音質を設定します。	16
[REC LIMITER] (録音ピークリミッター)	録音ピークリミッターのオン / オフを設定します。	21
[HPF]（ハイパスフィルター）	ハイパス (ローカット) フィルターのオン / オフを設定します。	21
[STEREO WIDE]（ステレオワイド）	ステレオワイド録音のオン / オフを設定します。	21
[REC SELECT]（外部録音）	外部入力端子に入力するソースを選択します。	14
[AUTO DIVIDE]（自動無音分割）	録音中の無音状態が続くと自動的にファイルを分割する設定をします。	23
[SELF TIMER]（セルフタイマー録音）	セルフタイマー時間を設定します。	24
[VAS]（VAS 設定）	音声起動録音のオン / オフを設定します。	22

■ [PLAY MENU] (再生設定)

設定項目	設定内容	参照ページ
[REPEAT]（リピート設定）	リピートモードを設定します。	32
[PHRASE PLAY]（フレーズ再生）	フレーズ再生 (設定した秒数を戻して再生する) 時間を設定します。	31
[SKIP PLAY]（スキップ再生）	スキップ再生 (設定した時間をスキップして再生する) 時間を設定します。	30
[SOUND EQ]（サウンド EQ)	音質補正を設定します。	34

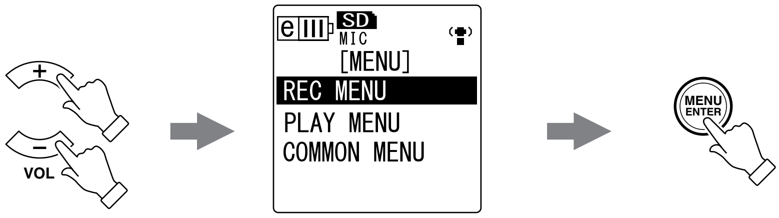
■ [COMMON MENU] (共通設定)

設定項目	設定内容	参照ページ
[BEEP SOUND]（ビープ音設定）	ビープ音のオン / オフを設定します。	52
[REC/PLAY LED]（録音 / 再生 LED)	録音 / 再生 LED のオン / オフを設定したり、録音ピーク LED を設定します。	25
[DATE & TIME]（カレンダー設定）	現在の日付と時間（カレンダー）を設定します。	9
[TIMER & ALARM]（タイマー設定）	予約録音、アラームを設定します。	47
[BATTERY SET]（電池の種類）	エネループ充電池 / アルカリ乾電池を選択します。	51
[AUTO OFF]（オートパワーオフ）	オートパワーオフ機能のオン / オフを設定します。	52
[BACKLIGHT]（バックライト）	画面のバックライトのオン / オフを設定します。	52
[CONTRAST]（コントラスト）	画面のコントラストを調整します。	53
[RECYCLE BIN]（ごみ箱）	ごみ箱機能のオン / オフを設定します。	42
[FORMAT]（フォーマット）	microSD カードを初期化します (全データを消去します)。	46
[MENU RESET]（メニュー初期化）	メニュー設定を初期化します。	53
[VERSION]（バージョン）	ファームウェアのバージョン情報を表示します。	53

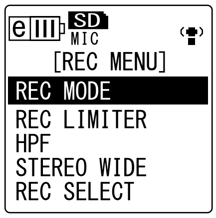
メニューの設定方法

ここでは、録音モードを MP3 128kbps に変更する場合を例にして、メニューの設定方法を説明します。

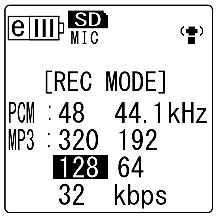
1. 基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押します。
2. [VOL +/−] ボタンを押して [REC MENU] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



3. [VOL +/−] ボタンを押して [REC MODE](録音モード) を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。



4. [VOL +/−] ボタンを押して [MP3 128kbps] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
5. [STOP/ESC ▢] ボタンを 2 回押します。
   基本画面に戻ります。



電池の種類を設定する

使用する電池をエネループ充電池またはアルカリ乾電池から選ぶ設定です。

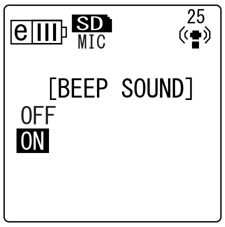
操作：
基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL +/−] ボタンで [COMMON MENU] → [BATTERY SET] → [eneloop] または [ALKALINE] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。

[eneloop]	エネループ充電池（付属品）
[ALKALINE]	アルカリ乾電池

ビープ音を設定する

ボタン操作時や誤操作を警告するときなどに、ビープ音を鳴らすことができます。

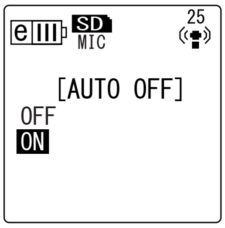
操作：
基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / −] ボタンで [COMMON MENU] → [BEEP SOUND] → [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
ビープ音（ピッ）を解除する場合は、[OFF] を選択してください。



オートパワーオフを設定する

電源がオンの状態で約 15 分間本機を使用しなかった場合、自動的に電源が切れる機能です（録音中、VAS 録音で録音待機中、再生中を除く）。

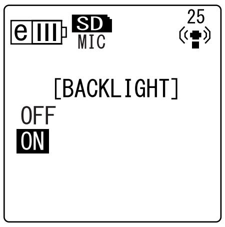
操作：
基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / −] ボタンで [COMMON MENU] → [AUTO OFF] → [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
オートパワーオフ機能を解除する場合は、[OFF] を選択してください。



バックライトを設定する

ボタンやスイッチを押すごとに画面のバックライトが約 10 秒間点灯する機能です。

操作：
基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / −] ボタンで [COMMON MENU] → [BACKLIGHT] → [ON] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
バックライト機能を解除する場合は、[OFF] を選択してください（バックライトは点灯しません）。

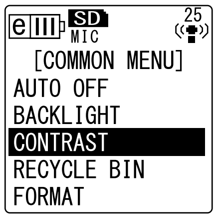


Note:
・電池残量が少ない場合はバックライトが点灯しません。

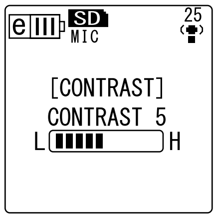
コントラストを調整する

画面のコントラストを 10 段階で調節する機能です。

1. **基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [COMMON MENU] → [CONTRAST] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**



2. **[⏮][⏭] ボタンを押してコントラストの濃淡を調節し、[MENU/ENTER] ボタンを押します。**
L(淡):1 ～H(濃):10



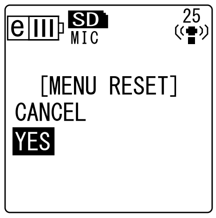
メニュー設定を初期化する

本機の設定を初期化すると、メニュー設定（カレンダー設定を除く）がお買い上げ時の状態に戻ります。

Note:

・メニューを初期化しても microSD カード内のデータは消去されません。microSD カードの初期化は46 ページをご覧ください。

操作：
基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [COMMON MENU] → [MENU RESET] → [YES] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
初期化を行なわないときは、[CANCEL] を選択してください。



バージョンを確認する

本機のファームウェアのバージョンを確認する機能です。

操作：
基本画面で、[MENU/ENTER] を 2 秒以上押し、[VOL ＋ / －] ボタンで [COMMON MENU] → [VERSION] を選び、[MENU/ENTER] ボタンを押します。
ファームウェアのバージョンが表示されます。

コンピューターと接続する

本機とコンピューターを USB ケーブル (付属) で接続することで、microSD カードに保存された音声ファイルをコンピューターに取り込むことができます。取り込んだファイルは Windows Media Player や iTunes などを使って再生したり、付属の DAW ソフトウェア「Cubase AI」を使って編集したりすることができます。また、コンピューターの中にある音声ファイルを本機に転送し再生することもできます。

コンピューターの動作環境

■ Windows
コンピューター本体：USB 端子を標準装備した Windows 対応コンピューター
対応 OS：Windows Vista, XP Professional/Home Edition

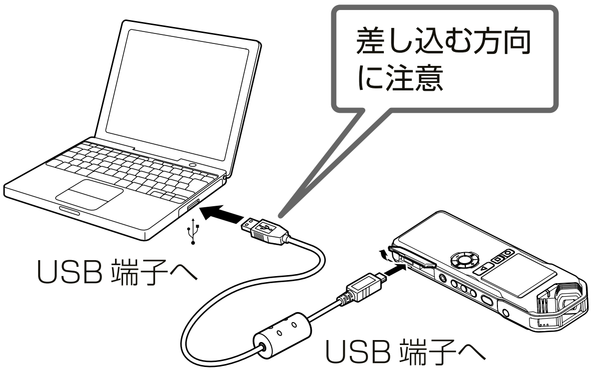
■ Macintosh
コンピューター本体：USB 端子を標準装備した Macintosh コンピューター
対応 OS：Mac OS X 10.4, 10.5

Note:
・お使いの OS やバージョンによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。また本書の説明では Windows XP/Windows Media Player 11 を使用しています。
付属のソフトウェアおよび動作環境については、下記の URL に最新情報が掲載されています。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

コンピューターに接続する

1. コンピューターを起動します。

2. 本機の電源がオフになっていることを確認し、付属の USB ケーブルで接続します。

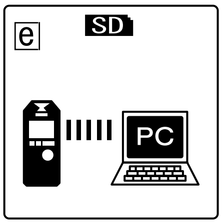


必ず実行

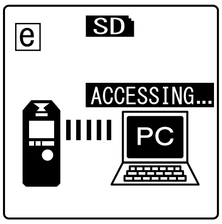
USB ケーブルは、必ず付属のものを使用してください。異なるケーブルを使用すると、端子の破損や故障につながるおそれがあります。

コンピューターに認識されると、本機の画面には以下が表示されます。

接続時



通信時



USB 端子ご使用時の注意

USB 端子とコンピューターを接続するときは、以下のことを行なってください。

以下のことを行なわないと、コンピューターや本機が停止 (ハングアップ) して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本機が停止したときは、Windows Media Player などのアプリケーションやコンピューターを再起動してください。

必ず実行

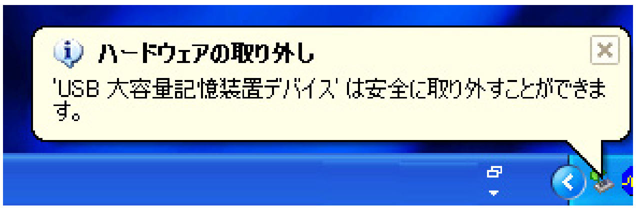
- **データの転送中は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。**
- **USB 端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力 (サスペンド / スリープ / スタンバイ / 休止) モードを解除してください。**
- **USB ケーブルの抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了させてください。**

コンピューターから取り外す

■ Windows:

1. 画面右下のタスクバーの をクリックし、[USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します] をクリックします。

2. 右のメッセージが表示されたら、USB ケーブルを取り外します。



■ Macintosh:

1. デスクトップに表示されている本機のドライブアイコン (NO NAME) を、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動します。

2. デスクトップから本機のドライブアイコン (NO NAME) が消えたら、USB ケーブルを取り外します。

トラブルシューティング（Windows Vista/XP）

本機がコンピューターに認識されない場合は、下記をご確認ください。

■ Windows Vista

本機がコンピューターに接続した状態で、下記の確認作業を行なってください。

1. [スタート] メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システム] 画面を開きます。
2. [デバイス マネージャ] をクリックし、表示されるユーザーアカウント制御画面から [続行] を選択して [デバイス マネージャ] 画面を開きます。
3. [ディスクドライブ]および[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]を展開し、「Yamaha Pocketrak USB Device」および「USB 大容量記憶装置」のデバイス名が表示されていれば正常です。

■ Windows XP

本機をコンピューターに接続した状態で、下記の確認作業を行ってください。

1. [スタート] メニュー(またはデスクトップ上)の [マイコンピュータ] アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システムのプロパティ] 画面を開きます。
2. [ハードウェア] タブ内の [デバイスマネージャ] をクリックしてデバイス マネージャ画面を開きます。
3. [ディスクドライブ]および[USB (Universal Serial Bus) コントローラ]を展開し、「Yamaha Pocketrak USB Device」および「USB 大容量記憶装置デバイス」のデバイス名が表示されていれば正常です。

デバイス マネージャで正しく表示されなかったら

下記の手順で確認を行なってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させる。
2. 接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウスやキーボードは除く）はすべて取り外して、本機だけを接続する。
3. コンピューターに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に本機を接続する。
4. バスパワー型 USB ハブを介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してコンピューターの USB 端子に直接付属の USB ケーブルを使用して本機を接続する。

ファイルとフォルダーについて

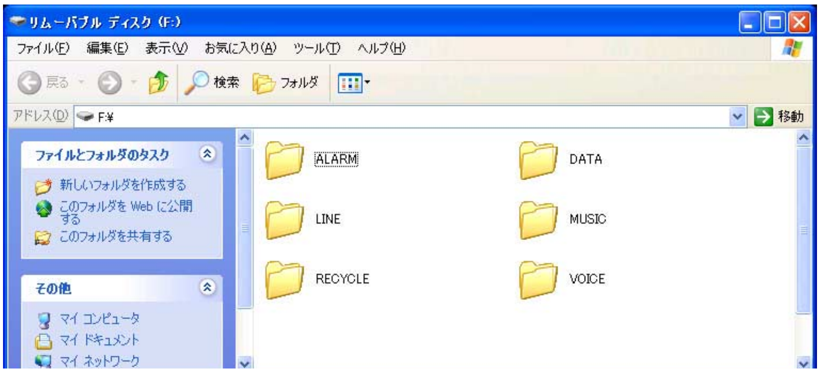
本機をコンピューターに接続することにより、フォルダー内のファイルの管理ができます。

ファイルをコンピューターへ保存したり、コンピューターから本機へ取り込んだりすることができます。

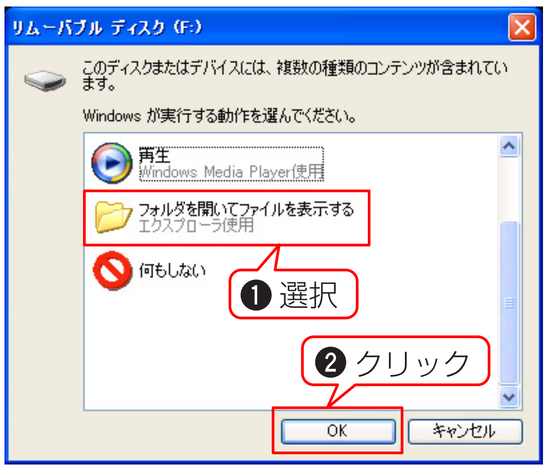
1. **本機をコンピューターに接続します。**
microSD カードが本機に差し込まれているか、確認してください。

2. **[スタート] メニューから [マイ コンピュータ] をクリックして開きます。**

3. **[リムーバブルディスク] をダブルクリックして開きます。**
本機のフォルダーが表示されます。



Note:
・本機接続時に、[自動再生] 画面が表示された場合、「フォルダーを開いてファイルを表示する」を選択し [OK] をクリックすると、本機のフォルダーを表示させることができます。



■ **「ファイル」は下記のいずれかの「フォルダー」に収容され、本機に挿入されている microSD カードに保存されています。**

・VOICE(A ～ D)
本機で録音した音声ファイル（MP3 および WAV 形式）が保存されているフォルダーです。さらに A ～ D の 4 つのフォルダーに分かれています。

Note:
・ファイルを違うフォルダー（たとえば A フォルダー内のファイルを B フォルダーへ）に移動しないでください。再生できなくなります。
・本機で録音した MP3 または WAV ファイルの名前をコンピューターで変更した場合、VOICE(A ～ D) フォルダーに戻すと再生できなくなります。ファイル名規則にしたがったファイル名に戻すか、MUSIC(M) フォルダーに戻すと再生できます（59 ページ）。

・ MUSIC
音楽ファイルなどコンピューターから転送するファイルを保存するフォルダーです。
転送して再生可能なファイルは MP3 形式、WMA 形式のファイルと本機で録音した WAV ファイルです。ファイル名は問いません。

Note:
・ファイルを追加すると再生順が変わる場合があります。
・このフォルダー内に 2 階層までお好みのフォルダー（サブフォルダー）を作成し、アルバムやアーティストごとにファイルを入れることができます（59 ページ）。
・コンピューターから音声ファイルを転送するときに、同一のファイル名が MUSIC(M) フォルダー内にある場合は、フォルダー内にあったファイルが上書きされますのでご注意ください。

・ DATA
ワードやエクセルなどのファイルを入れて本機を USB フラッシュメモリー（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダーです。

Note:
・このフォルダーに音声や曲ファイルを入れても本機では再生できません。
・コンピューター接続時のみ確認できます。本機の操作では表示されません。

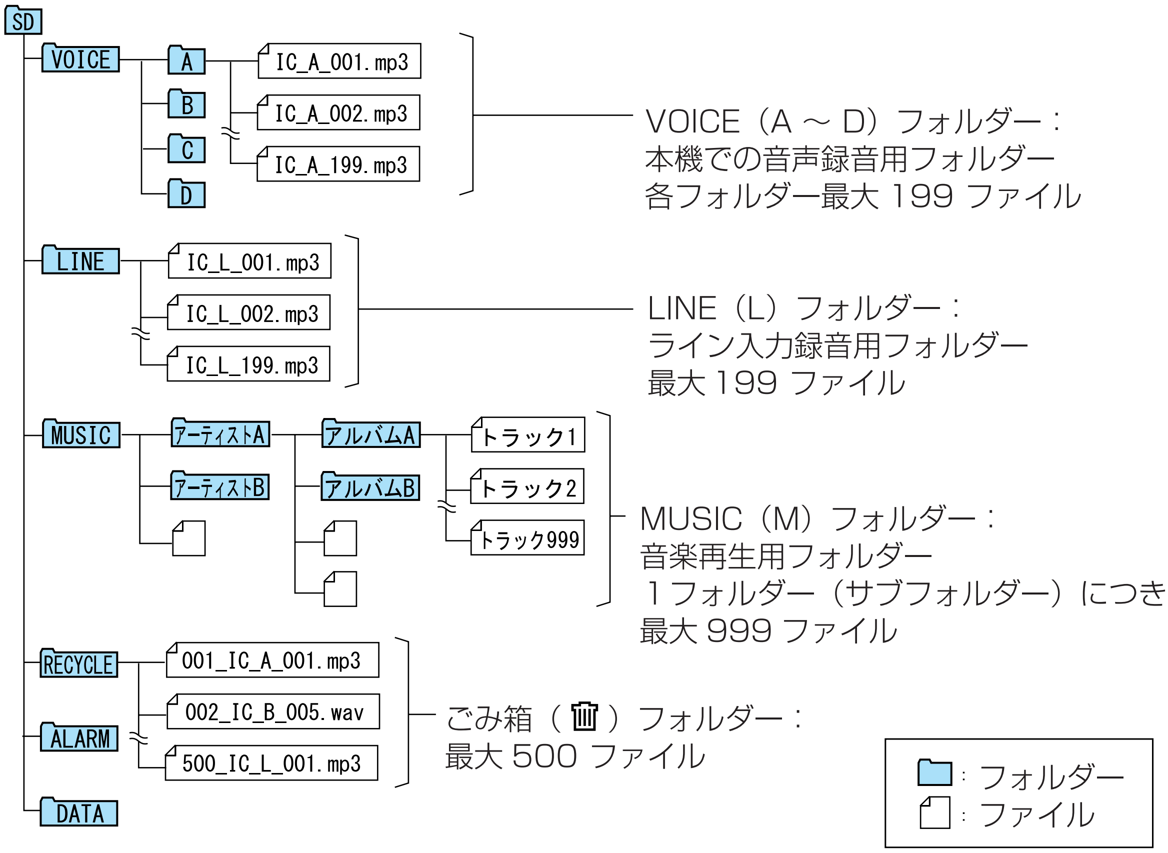
・ LINE
外部機器からライン録音したファイルが保存されているフォルダーです。
本機で録音した MP3 ファイルの名前をコンピューターで変更した場合、LINE(L) フォルダーに戻すと再生できなくなります。ファイル名規則にしたがったファイル名に戻すか、MUSIC(M) フォルダーに戻すと再生できます (59 ページ)。

・ RECYCLE
ごみ箱フォルダーです。ごみ箱機能がオンのとき、本機で消去したファイルが移動されます。ごみ箱フォルダー内のファイルは元に戻すことができますので、誤って消去した場合などでも安心です。

・ ALARM
アラーム時に鳴らす MP3 、WMA または本機で録音した WAV ファイルを保存するフォルダーです。再生できるのは 1 ファイルのみです。

Note:
・このフォルダーにファイルがない場合は、アラームの設定にかかわらずアラーム時にはビープ音が鳴ります。
・コンピューター接続時のみ確認できます。本機の操作では表示されません。

■ 本機のフォルダー構成



ファイル名規則について

本機で録音したファイルには、下記の規則で自動的に名前がつきます。

$\text{IC\_}\underset{\text{❶}}{\underline{\text{A}}}\text{\_}\underset{\text{❷}}{\underline{\text{001}}}\text{.}\underset{\text{❸}}{\underline{\text{MP3}}}$

❶ フォルダー名（録音先のフォルダーによって変わります）

❷ ファイル番号（録音するごとに、001、002、003…と順次ファイルが作成されていきます）

❸ 拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV になります）

また、ごみ箱機能を使ってごみ箱に移動したファイルは、下記のようなファイル名に変更されます。

$\underset{\text{❶}}{\underline{\text{001}}}\text{\_IC\_}\underset{\text{❷}}{\underline{\text{A}}}\text{\_}\underset{\text{❸}}{\underline{\text{001}}}\text{.}\underset{\text{❹}}{\underline{\text{MP3}}}$

❶ ごみ箱内のファイル番号（001、002、003…というように、ごみ箱に移動された順番でつけられます）

❷ フォルダー名（ごみ箱に移動する前のフォルダー名です）

❸ ファイル番号（ごみ箱に移動する前のファイル番号です）

❹ 拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）

音声ファイルをコンピューターに取り込む

■ Windows:

1. 本機をコンピューターに接続します。
2. [スタート] メニューから [マイ コンピュータ] を開きます。
3. [リムーバブルディスク] をダブルクリックして開きます。
4. [VOICE] フォルダーをダブルクリックして開きます。
5. コンピューターに取り込みたいファイルが入っているフォルダー（A ～ D）をダブルクリックして開きます。
6. ファイルをコンピューターの任意の場所にコピーします。

■ Macintosh:

1. 本機をコンピューターに接続します。
2. デスクトップに表示される本機のドライブアイコン (NO NAME) をダブルクリックして開きます。
3. [VOICE] フォルダーをダブルクリックして開きます。
4. コンピューターに取り込みたいファイルが入っているフォルダー（A ～ D）をダブルクリックして開きます。
5. ファイルをコンピューターの任意の場所にコピーします。

Hint:

・**コンピューターから音声ファイルを本機に転送するには**
転送したい音声ファイルを、本機のリムーバルディスク (Windows)/ 本機のドライブアイコン (Macintosh) 内の MUSIC（M）フォルダーにドラッグします。VOICE(A ～ D) フォルダーや LINE(L) フォルダーに転送する場合は、ファイル名規則（59 ページ）にしたがって、ファイル名を変更してください。ファイル名規則にしたがっていないファイルは MUSIC(M) フォルダー以外では再生できません。

音声ファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD にコピーすることができます。

Windows Media Player の入手方法の詳細は Microsoft 社のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/

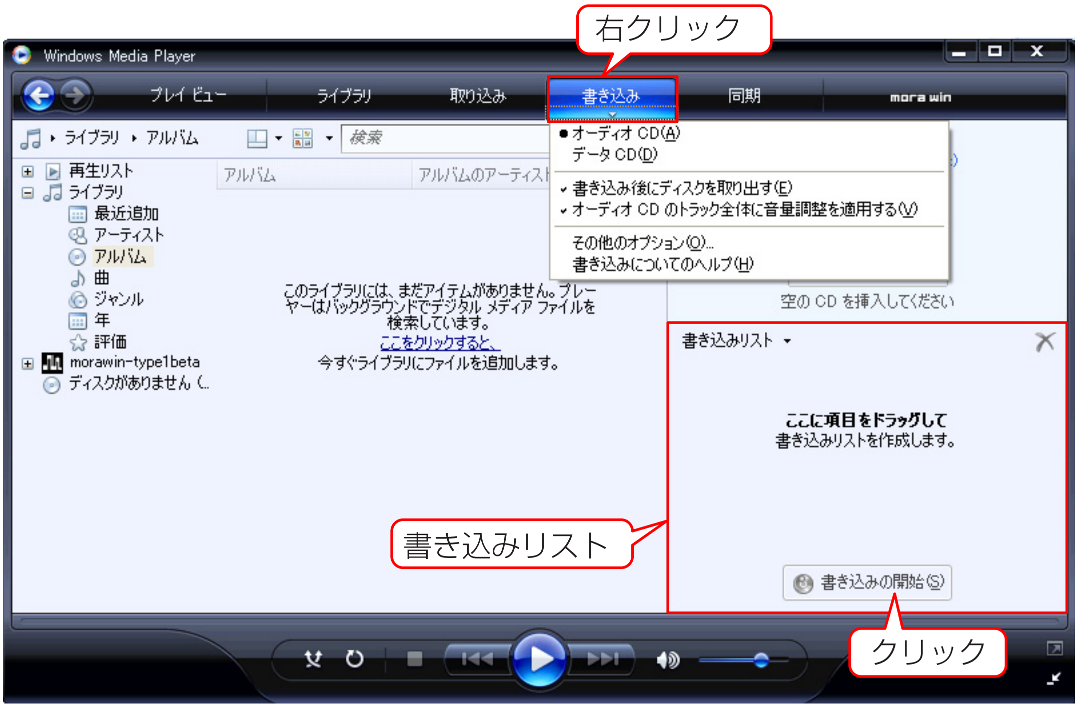
Note:

・本書の説明では Windows XP/Windows Media Player 11 を使用します。
・CD のコピーには、書き込みが可能なドライブ（CD-R/RW ドライブなど）が必要です。

1. [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Windows Media Player] をクリックして Windows Media Player を起動します。

2. [書き込み] メニューを右クリックし、[オーディオ CD] または [データ CD] をクリックして選びます。

[オーディオ CD]	CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できます。
[データ CD]	本機で録音した形式（MP3、PCM）のまま CD-R/RW にコピーします。コンピューター上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。



3. 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入します。

4. CD-R/RW にコピーしたいファイルを Windows Media Player の [書き込みリスト] にドラッグ＆ドロップします。

5. [書き込みの開始] をクリックして、CD-R/RW への書き込みを開始します。

本機で音楽を聞く

本機ではコンピューターから Windows Media Player や iTunes を使って音楽ファイルを転送することで、一般的なミュージックプレーヤーのように、音楽を再生して聞くことができます。

Windows Media Player の入手方法の詳細は Microsoft 社のホームーページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/

Note:

- 本書の説明では Windows XP /Windows Media Player 11 を使用します。
- ヤマハ (株) および第三者から販売もしくは提供されている音楽 / サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- 本機およびコンピューターの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

音楽 CD から音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD から本機で再生可能なファイル (MP3 または WMA) を作成し、コンピューターに取り込むことができます。

1. [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Windows Media Player] をクリックして Windows Media Player を起動します。
2. [取り込み] メニューを右クリックして、[形式] → [mp3] を選択します。

3. [取り込み] メニューをクリックします。

4. 音楽 CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。

Note:

・お使いのコンピューターがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽 CD の曲情報を入手して表示します。

5. コンピューターに取り込みたい曲にチェックをし、[取り込みの開始] をクリックします。

取り込みが始まります。

Note:

・Windows Media Player の設定によっては、音楽 CD を挿入したときに自動的に取り込みが開始されます。

本機に音楽ファイルを転送する（同期させる）

コンピューターに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送することができます。

音楽 CD からコンピューターに音楽ファイルを取り込む方法については「CD から音楽ファイルを作成する（CD リッピング）」(62 ページ) を参照してください。

1. **[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[Windows Media Player]をクリックして Windows Media Player を起動します。**

2. **[同期] メニューをクリックします。**

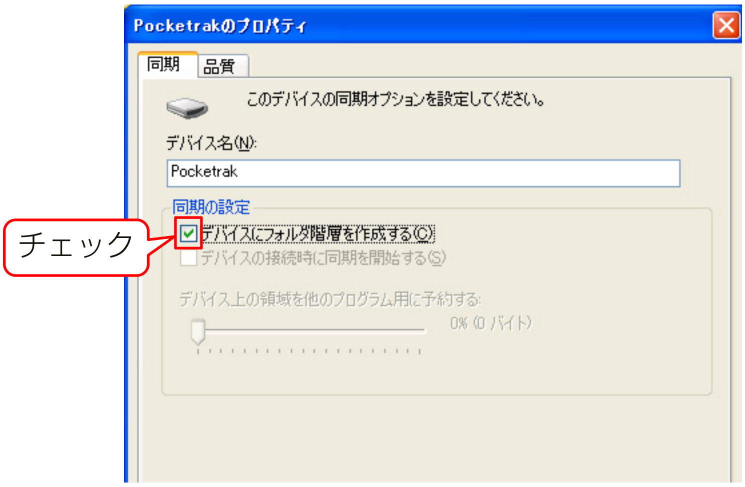
3. **本機をコンピューターに接続します。**

Note:

・デバイスの設定画面が表示された場合は [完了] をクリックしてください。

4. **[同期]メニューを右クリックして、[Pocketrak] → [詳細オプション ...] をクリックします。**

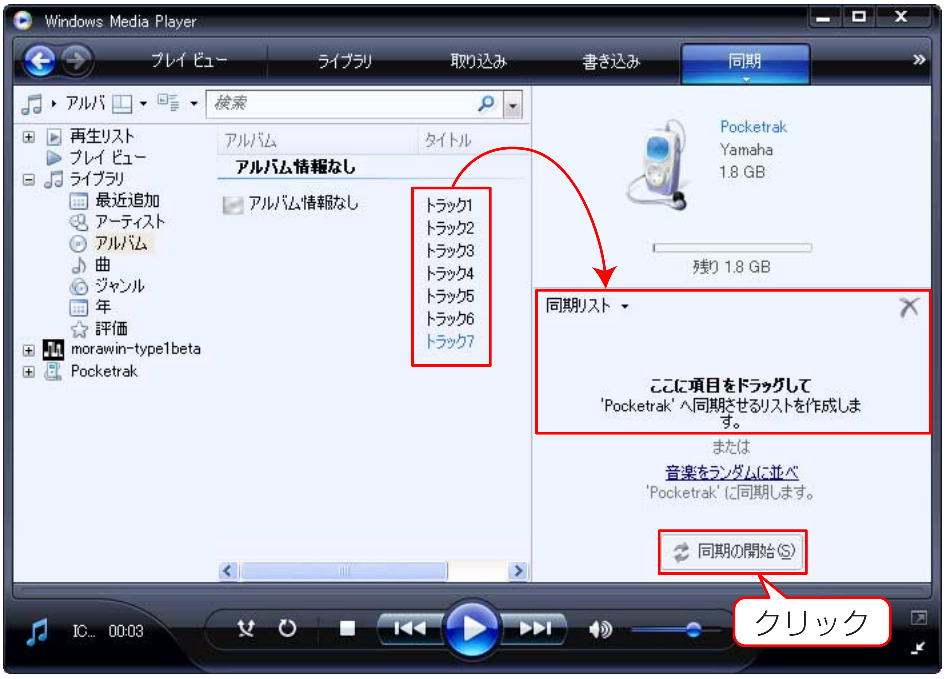
5. **[同期] タブの [デバイスにフォルダ階層を作成する] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。**



Note:

・初期状態でチェックが入っていると、フォルダーが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから、再度チェックをつけ、[OK] をクリックしてください。

6. 画面左側の [ライブラリ] から同期したい音楽ファイルを選択し、画面右側の [同期リスト] にドラッグ & ドロップします。



7. [同期の開始] をクリックします。
ファイルが本機に転送されます。

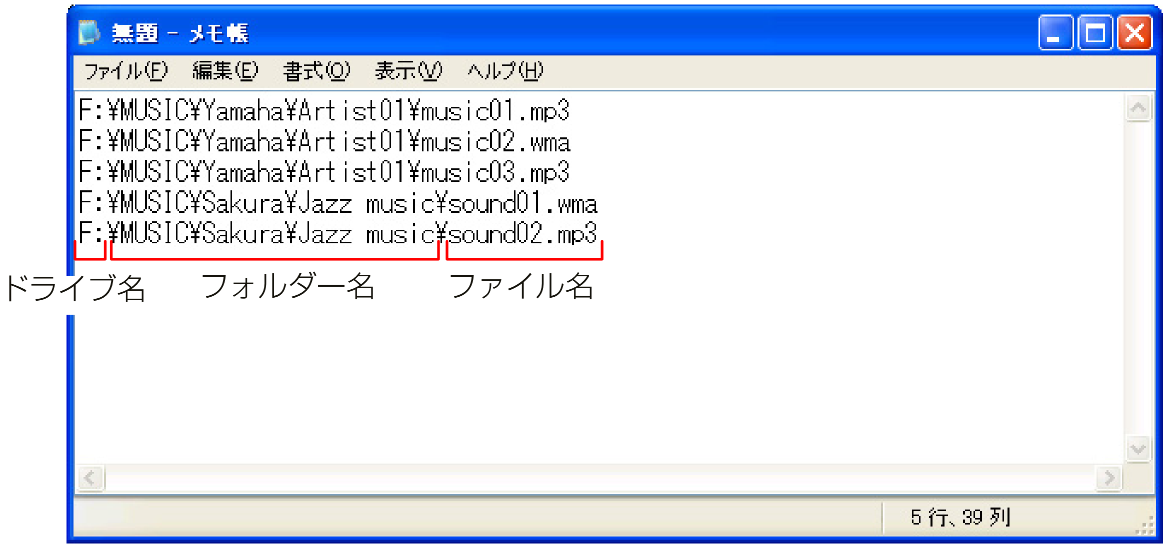
好きな曲順で再生する

プレイリストを作成する

コンピューターでプレイリストを作成すると、ご希望の順番で曲再生ができます。対応しているプレイリストファイルは M3U 形式（MP3 などのプレイリストを規定したファイル）で、拡張子は「.m3u」です。

1. **[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[メモ帳]をクリックし開きます。**

2. **MUSIC(M) フォルダー内のファイル名を再生したい順番に入力します。**
プレイリストに記載するファイル名は、図のように「ドライブ名：¥ フォルダー名 ¥ ファイル名」と入力してください。



3. **[ファイル] メニュー → [名前をつけて保存] をクリックして、ファイル名を"xxx(ファイル名).m3u" として保存します。**

4. **保存したプレイリストを本機の MUSIC(M) フォルダーに転送します（58 ページ）。**
プレイリストファイルは、MUSIC(M) フォルダーの直下に転送してください。

Note:
・MUSIC(M) フォルダー内のサブフォルダーの中には入れずに、MUSIC(M) フォルダーの中（直下）に入れてください。

5. **本機をコンピューターから取り外します（55 ページ）。**

Hint:
・プレイリストを利用した再生方法は、27 ページをご覧ください。

Cubase AI に音声ファイルを取り込む

付属の DVD には DAW ソフトウェア「Cubas AI」が入っており、このソフトウェアを使って、音声ファイルの編集やミキシングができます。ここでは、Cubase AI のインストール手順と、音声ファイルの取り込み（インポート）手順を説明します。Cubase AI の操作についてさらに詳しく知りたい場合は、Cubase AI に付属のマニュアル (PDF 形式) をご参照ください。

STEP1. Cubase AI をインストールする

⚠ **重要**

インストールの過程で「スタインバーグ･エンドユーザー･ライセンス契約書」が表示されますが、その契約書は、付属の取扱説明書（別冊）に記載されているソフトウェア使用許諾契約に置き換えられるために、意味のないものです。必ず取扱説明書に記載されている「ソフトウェアのご使用条件」をお読みいただき、同意される場合のみインストールしてください。

1. **コンピューターを起動し、管理者権限のあるアカウントでログオンします。**
2. **DVD-ROM ドライブに付属の DVD-ROM を挿入します。**
3. **Windows の場合は、「Cubase AI 4 for Windows」フォルダーの「CubaseAI4.msi」を、Macintosh の場合は、「Cubase AI 4 for MacOS X」フォルダーの「CubaseAI4.mpkg」のアイコンをダブルクリックします。**
   画面の指示にしたがって、Cubase AI をインストールします。

Note:

・・Cubase AI を継続してご使用いただくために、ユーザー登録とソフトウェアライセンス認証が必要です。登録と認証は、インターネットに接続した状態で Cubase AI を起動したときに行なえます。起動時に表示される「今すぐ登録」ボタンをクリックし、表示されたすべての項目を入力してください。登録と認証をされない場合は、インストール後、一定期間のみご使用いただけます。詳しい手順は、下記 URL のガイドをご参照ください。
http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/register_cubase_ai_4_j

STEP2. コンピューターと接続する

付属の USB ケーブルを使ってコンピューターと本機を接続します。

STEP3. Cubase AI に音声ファイルを取り込む

1. Cubase AI を起動します。

Windows の場合：
[スタート] → [すべてのプログラム] → [Steinberg Cubase AI 4] → [Cubase AI 4] をクリックします。

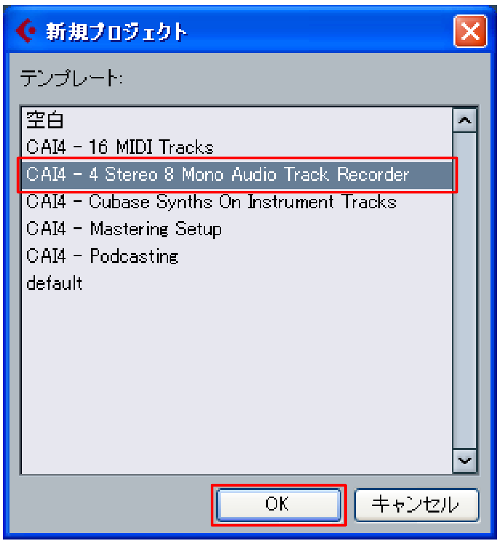
Note:
・「ASIO マルチメディア」ダイアログが表示される場合は、[はい] をクリックします。

Macintosh の場合：
[アプリケーション] → [Cubase AI 4] をダブルクリックします。

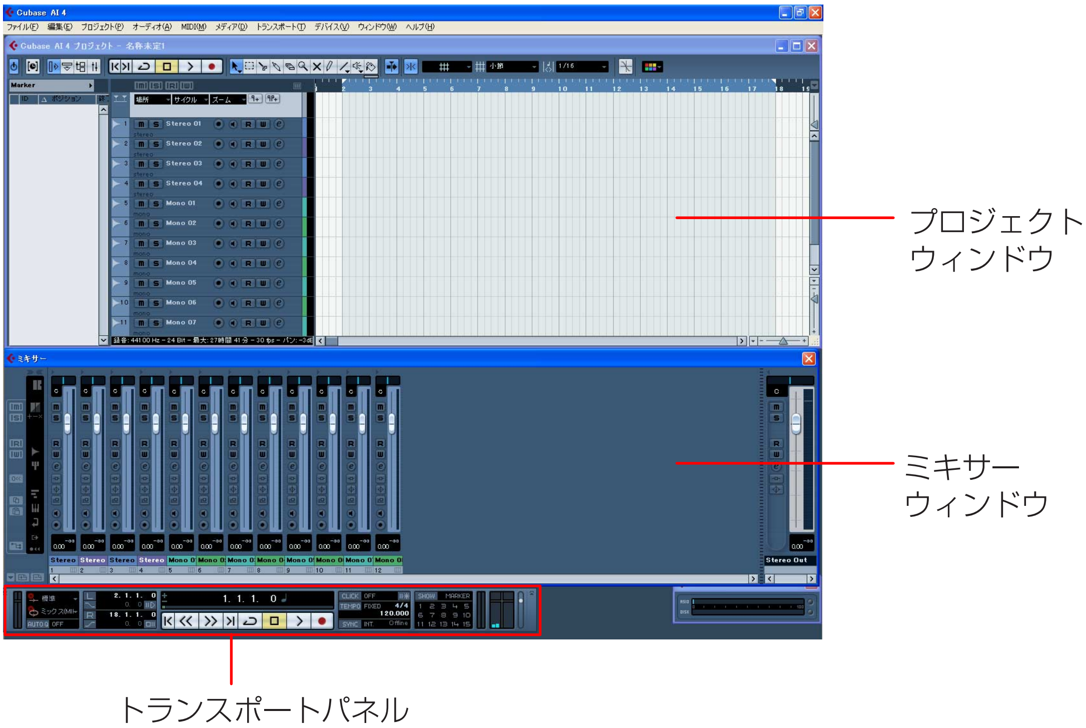
Note:
・Cubase AI をインストールするときにファイルの保存先を指定した場合は、指定した保存先から Cubase AI を起動します。
・デスクトップに Cubase AI のショートカット、またはエイリアスを作っておくと便利です。

2. [ファイル] メニュー → [新規プロジェクト] を選択し、新規プロジェクトファイルを作成します。
新規プロジェクトダイアログが表示されます。ここでは、テンプレートとして [CAI4 ー 4 Stereo8 Mono Audio Track Recorder] を選択して、[OK] をクリックします。

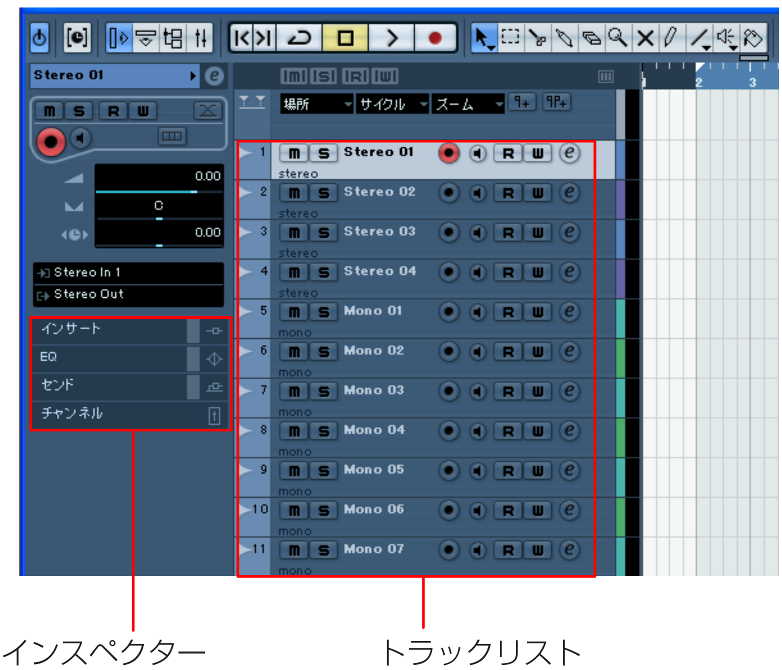
Note:
・Cubase AI では、録音するデータのファイルをプロジェクトファイルと呼びます。



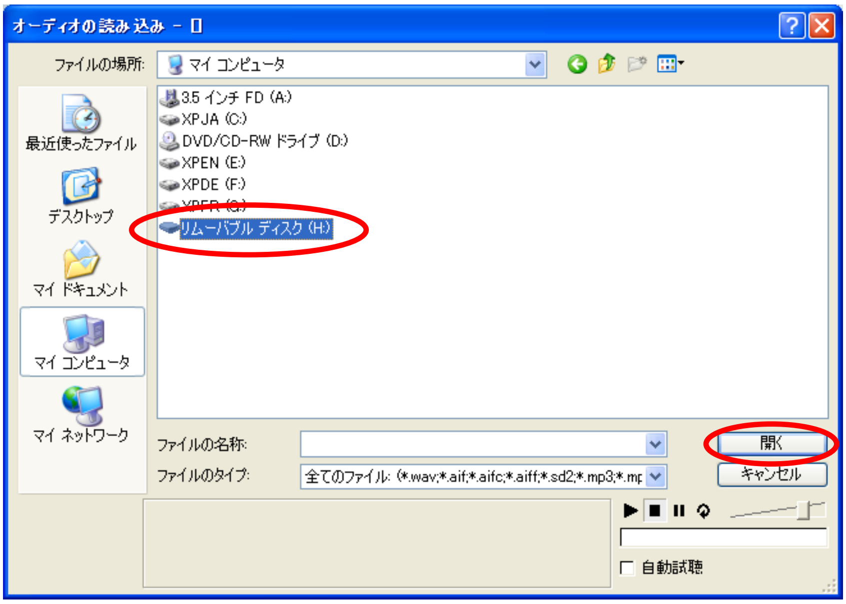
3. **ディレクトリーの選択ダイアログが表示されたら、作成したプロジェクトファイルやオーディオファイルが保存されるフォルダーを指定して、[OK] をクリックします。**
空の 4 ステレオと 8 モノラルのオーディオトラックを配置したプロジェクトウィンドウが表示されます。



4. **トラックリスト (トラック名が表示されている箇所) をクリックして、音声ファイルを取り込むトラックを選択します。**
選択したトラックの各種設定が、左側のインスペクターに表示されます。

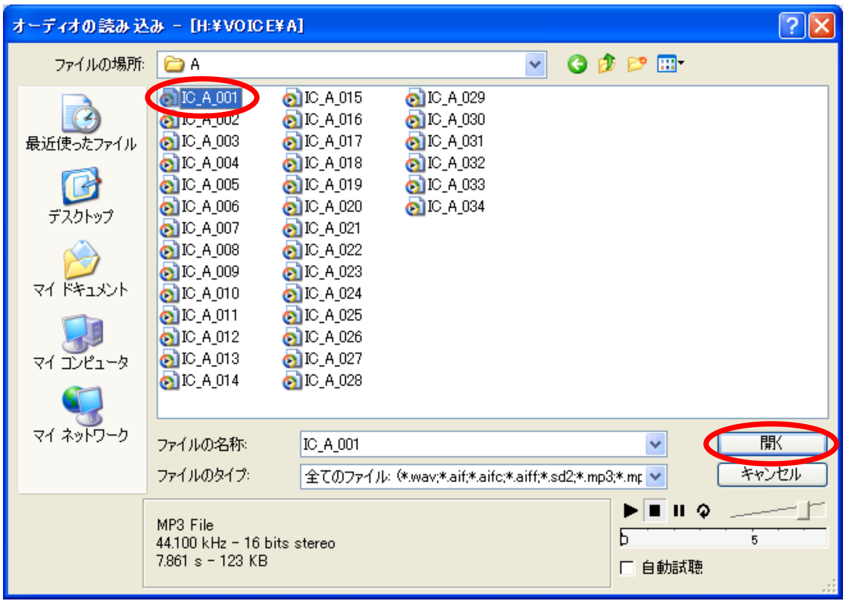


5. [ファイル] メニュー → [読み込み] → [オーディオファイル] → [マイ コンピュータ] → [リムーバブルディスク] を選んで、[開く] をクリックします。



6. 取り込む音声ファイルを保存されているフォルダーから選び、[開く] をクリックします。

Note:
・「読み込みオプション」ダイアログが表示される場合は、[OK] をクリックします。



7. プロジェクトファイルを保存するには、[ファイル] メニュー → [保存] を選択して、ファイル名を指定して保存します。
予期せぬトラブルに備えて、プロジェクトファイルはこまめに保存しましょう。

Hint:
・エフェクトやミキシングなどの詳しい説明は、Cubase AI ソフトウェアに付属のマニュアル (PDF 形式) をご覧ください。

エネループを充電する

必ず実行

- 周囲の温度が 5 ℃〜 35 ℃の環境で充電してください。
- 充電中は電池ぶたを必ず閉めてください。

1. **本機にエネループ充電地が入っていることを確認します。**

禁止

アルカリ乾電池などを入れたまま充電すると、液漏れや本機の故障の原因になります。

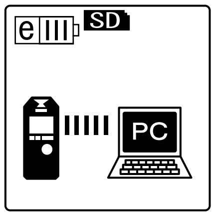
2. **基本画面で [MENU/ENTER] ボタンを 2 秒以上押し、「COMMON MENU」(共通設定) → [BATTERY SET] (電池の種類) で [eneloop] (エネループ) が選択されていることを確認します。**

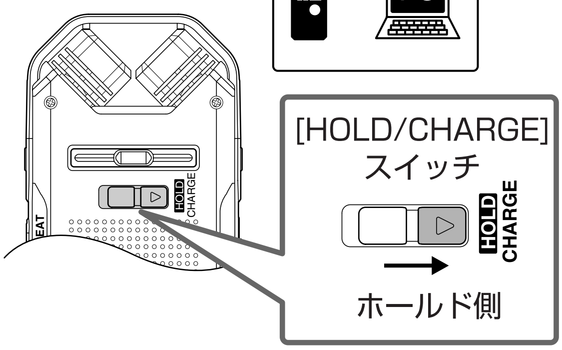
3. **本機をコンピューターに接続します（54 ページ）。**

4. **本機の画面がコンピューター接続中の表示になったことを確認し、[HOLD/CHARGE] スイッチを [HOLD ▷] 側にします。**

LED が緑色に点灯し、充電が始まります。

途中で充電を止めるときは、[HOLD/CHARGE] スイッチを [HOLD ▷] と反対側に戻してください。充電が完了すると、LED が消灯します。





Note:

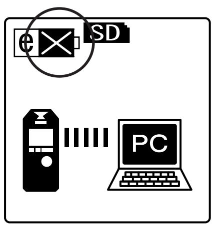
- 使い切ったエネループ充電池は約 220 分で充電が完了します。
- データ転送中でも充電できますが、充電完了後の使用時間が短くなることがあります。

5. **本機をコンピューターから取り外します。**

Note:

- 充電中に電池があたたかくなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても、電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しい単 3 形エネループ充電池をお買い求めください。
- 下記の状態のときは充電しない場合があります。
  - コンピューターが休止モードになったとき
  - コンピューターを再起動したとき
- 図のように充電表示に ☒ が表示されると、以下のような理由により充電できません。
  - エネループ充電池以外の電池が入っている
  - 本機に電池が入っていない
  - 本機の温度が上がっている

  （コンピューターから取り外し、電源オフ状態でしばらく放置してから接続してください。）



資料

エラーメッセージ一覧

本機の各操作中、画面にエラーメッセージが表示されることがあります。エラーメッセージの内容は、下記のとおりです。

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明
バッテリー低下	LOW BATTERY! REPLACE BATTERY	アルカリ乾電池設定で電池切れになった場合に表示されます。新しい電池と交換してください。
	LOW BATTERY! CHARGE BATTERY!	エネループ設定で電池切れになった場合に表示されます。エネループを充電してください。
録音	MEMORY FULL!	録音するために必要なmicroSD カードの空き容量がないときに表示されます。
	FILE FULL!	各フォルダーの録音可能なファイル数を超えて録音しようとした場合に表示されます。
再生	NO DATA!	フォルダー内に再生ファイルがないときに [PLAY/SPEED ▷] ボタンを押した場合に表示されます。
	CANNOT CHANGE PLAYBACK SPEED!	PCM録音再生時に、再生スピードの変更操作をした場合に表示されます。 PCM(WAV) ファイルは再生スピードを変更できません。
編集 （インデックス）	INDEX FULL!	インデックスが最大数（1 ファイルあたり 36) を超えたため記録できない場合に表示されます。
編集 （ファイル分割）	CANNOT DIVIDE! FOLDER FULL!	フォルダーにこれ以上ファイルを作成できない状態（このフォルダーが一杯の状態）で、ファイル分割操作をした場合に表示されます。
	CANNOT DIVIDE! MEMORY FULL!	ファイル分割するために必要な microSD カードの空き容量がない場合に表示されます。
	CANNOT DIVIDE! REC TIME TOO SHORT !	録音時間が短いため分割できない場合に表示されます。
	CANNOT DIVIDE! AT THIS POINT	現在の停止位置ではファイルを分割できない場合に表示されます。

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明
編集 （フェードイン / フェードアウト）	CANNOT FADE IN! FILE TOO SHORT!	ファイルが短い（4 秒以下）ためフェードインできない場合に表示されます。
	CANNOT FADE OUT! FILE TOO SHORT!	ファイルが短い（4 秒以下）ためフェードアウトできない場合に表示されます。
	CANNOT FADE IN! READ-ONLY FILE!	PCM（WAV）ファイル以外のファイルをフェードインした場合に表示されます。PCM(WAV) ファイル以外のファイルはフェードインできません。
	CANNOT FADE OUT! READ-ONLY FILE!	PCM（WAV）ファイル以外のファイルをフェードアウトした場合に表示されます。PCM(WAV) ファイル以外はフェードアウトできません。
	MEMORY FULL!	フェードイン、フェードアウトで microSD カードの空き容量が不足している場合に表示されます。
編集（全般）	CANNOT EDIT! READ-ONLY MODE!	MUSIC フォルダーを選択時に [EDIT/PHRASE] ボタンを押して編集しようとした場合に表示されます。
リスト表示	NO FILE	フォルダー内に本機で再生できるファイルがない場合に表示されます。
ごみ箱	CANNOT EDIT! READ-ONLY MODE!	ごみ箱フォルダーを選択時に [EDIT/PHRASE] ボタンを押して、編集しようとした場合に表示されます。
	FOLDER FULL!	ごみ箱からファイルを戻すときに、戻し先のフォルダーが一杯でファイルをそのフォルダーに戻せない場合に表示されます。
	RECYCLE BIN FULL!	ごみ箱フォルダーが一杯の状態（ファイル数が最大 500) で、ファイルを削除した場合に表示されます（ごみ箱設定 ON 時）。
microSD カード	NO MEDIA!	microSD カードが挿入されていない状態で録音や再生をしようとした場合に表示されます。microSD カードを挿入してください。
	SD CARD ACCESS ERROR! INSERT AGAIN!	microSD カードの認識に失敗した場合や、microSD カードが壊れている場合などに表示されます。再度挿入してください。
	SD CARD WRITE SPEED TOO SLOW!	PCM 録音時などに録音の書き込みが正しくできない状態が発生した場合に表示されます。

困ったときには

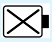
本機が動作しない	
原因	電池が正しく入っていないか、電池切れである。
解決方法	一度電池を完全に抜いてから、電池を正しく入れ直してください。または充電するか新しい電池に換えてください（71 ページ）。

ボタンまたはスイッチを押しても反応しない	
原因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている。
解決方法	本機背面の [HOLD/CHARGE] スイッチを戻して、ホールド機能を解除してください。

原因	コンピューターと USB 接続したままである。
解決方法	本機をコンピューターから取り外してください（55 ページ）。

コンピューターに接続して、エネループが充電できない	
原因	[BATTERY SET](電池の種類) が [ALKALINE](アルカリ乾電池) に設定されている。
解決方法	[eneloop]（エネループ充電池）に設定してください（51 ページ）。

原因	[HOLD/CHARGE] スイッチを設定していない。
解決方法	[HOLD/CHARGE] スイッチを [HOLD ▷] 側にスライドしてください。

充電すると  が表示される。	
原因	・ エネループ充電池以外の電池を入れて充電しようとした。 ・ 本機にエネループ充電池を入れずに充電しようとした。 ・ エネループ充電池が正しく入っていない。
解決方法	本機にエネループ充電池を入れて充電してください。

原因	本機の温度が上がっている。
解決方法	本機をコンピューターから取り外して、しばらく放置してから再充電してください。

microSD カードが認識されない	
原因	microSD カードが正しく挿入されていない。
解決方法	本機の電源をオフにし、再度 microSD カードを挿入し直してください。

原因	microSD カードを本機以外（コンピューターなど）で初期化した。
解決方法	microSD カードを本機で初期化してください (46 ページ)。

音声が聞こえない	
原因	音量が小さい。
解決方法	[VOL +/ −] ボタンで音量を調節してください。

VOICE（A ~ D）フォルダー内のファイルが再生できない	
原因	ファイル名が異なる。
解決方法	コンピューターでファイル名を変更すると VOICE（A ~ D）に戻しても再生できなくなりますが、MUSIC(M) フォルダーに転送すると再生できるようになります。

原因	本機で録音したWAV 形式の音声ファイルではない。
解決方法	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルの再生はできません。

MUSIC(M) フォルダー内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	
原因	再生できるファイル形式ではない。
解決方法	正しく再生できる MP3 形式または WMA 形式のファイルをご使用ください。

原因	本機で録音したPCM(WAV) 形式の音声ファイルではない。
解決方法	本機以外で録音した WAV 形式の音声ファイルの再生はできません。

原因	転送先が異なる。
解決方法	コンピューターからファイルを転送するときに、MUSIC(M) フォルダー以外のフォルダーに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC(M) フォルダー内に転送してください。

原因	本機で再生できないファイルとなっている。
解決方法	エンコーダー（MP3/WMA 変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原因	プレイリストに書かれているファイルが MUSIC(M) フォルダー内にない。
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC(M) フォルダー内にそのファイルを転送してください。

原因	転送方法が異なる。
解決方法	著作権保護されているファイルは、エクスプローラで転送しても再生できません。Windows Media Player で転送してください（64 ページ）。

ファイル分割ができない	
原因	microSD カードの空き容量が足りない。
解決方法	不要なファイルを消去してください（45 ページ）。

原因	ファイルの録音時間が短すぎる。
解決方法	ファイル分割に必要な録音時間は、録音モードによって異なります (38 ページ)。

ファイルが消去できない	
原因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている。
解決方法	本機をコンピューターに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。または、microSD カードの初期化を行なってください (46 ページ)。

コンピューター接続時に、リムーバブルディスクが表示されない	
原因	コンピューターと本機が正しく接続されていない。
解決方法	USB ケーブルが本機側、コンピューター側ともに奥まで正しく差し込まれているか確認してください (54 ページ)。

原因	コンピューターからの電源供給が不十分である。
解決方法	バスパワー型 USB ハブを利用している場合は、コンピューター本体の USB 端子と本機を直接接続するか、セルフパワー型（電源アダプター付）の USB ハブを使用してください。また、コンピューター本体に複数 USB 端子がある場合は、他の USB 端子に接続してみてください (54 ページ)。

原因	ネットワークドライブが割り当てられている。
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があります。ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにご確認ください。

原因	コンピューターが本機を認識しない。
解決方法	コンピューターが本機を正しく認識しない場合、再度接続してください。本機に対応するコンピューター以外に接続されても動作保証いたしません (54 ページ)。

コンピューターから本機へのファイルの転送速度が遅い	
原因	コンピューター側が USB1.1 端子に接続している
解決方法	USB2.0 の High Speed 対応 USB 端子に接続してください。

コンピューター接続時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない	
原因	コンピューターと本機が正しく接続されていない。
解決方法	コンピューターによっては、コンピューターに接続した時に、本機に接続アイコン表示がでない場合や、コンピューター側で本機が認識されない場合があります。その場合は本機をコンピューターから抜いて再度接続してください。

録音した音声にノイズが発生している	
原因	風切り音が録音されています。
解決方法	内蔵ステレオマイクは高感度のため、エアコンの微風でも、マイクに直接風や息があたるとノイズとして録音されてしまいます。これらのノイズを軽減するために、 ・内蔵ステレオマイクにウィンドスクリーン (風防) をかぶせて使用してください。 ・設定メニューの [HPF](ハイパスフィルター) を ON にしてください（21 ページ)。 ・MIC SENS(マイク感度) スイッチを「LOW」(低) に切り替えてください。

録音した音声に音の歪み（音割れ）が発生している	
原因	マイク感度が適切でない。
解決方法	・MIC SENS（マイク感度）スイッチを「LOW」（低）に切り換えてください。それでも音割れする場合は HPF（パイパスフィルター）を「ON」にしてウインドスクリーンを装着してください（21 ページ)。 ・ALC オフの場合は、「録音ピークリミッター」を「ON」に設定してください（21 ページ)。

録音したファイルに音とびが発生する	
原因	・microSD カードを本機以外（コンピューターなど）で初期化した。 ・microSD カード内のメモリーの断片化が進んでいる。
解決方法	microSD カードを本機で初期化してください（46 ページ)。

カレンダーが正しく表示されない	
解決方法	日時を再設定してください（9 ページ)。

ファイルを削除したのに空き領域が増えない	
原因	ごみ箱の設定が ON になっている。
解決方法	ごみ箱の中身を消去してください（44 ページ)。

よくあるご質問 (FAQ)

Q：アルカリ乾電池やエネループ充電池以外の電池は使えますか？

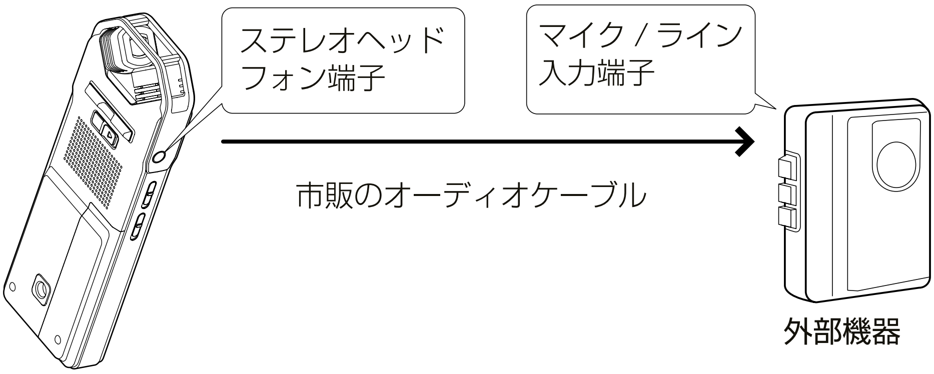
A：マンガン電池、ニカド電池は使用しないでください。オキシライド電池は使用できますが、動作保証はいたしません。（電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。）

Q：再生音にガサガサ雑音が入るのはなぜ？

A：録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないようにしてください。

Q：録音内容をテープや MD などに保存するには？

A：市販のオーディオケーブル（ステレオミニプラグ：φ3.5mm）を使えば、本機で録音したファイルを、簡単にテープレコーダーや MD レコーダーなどの外部機器にダビングして保存することができます。



使用するオーディオケーブル

外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ステレオミニプラグ　φ3.5mm、抵抗入り
音声ライン入力	ステレオミニプラグ　φ3.5mm、抵抗なし

＊ステレオのオーディオケーブルをご使用ください。
＊ダビングする前に試し録音をし、本機で音量を調整しておいてください。
＊テープレコーダーや MD プレーヤーから本機への録音も可能です（14 ページ）。

Q：うまく録音するコツは？

A：録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードやマイク感度を選択してください。10 ページを参考に、本機の設定を行なってください。

Q：取扱説明書 / リファレンスマニュアルに記載されている録音可能時間は、1 つのファイルごとの録音可能時間ですか？

A：いいえ、microSD カードごとの録音可能時間です。録音可能時間とは、microSD カード内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。したがって、1 ファイルで microSD カードが一杯になるまで録音すると、ファイルやフォルダーを変更してもそれ以上は録音できません。

Q ：コンピューターに一旦保存した録音ファイルを、再び本機に戻したら再生できなくなりました。

A ：コンピューターでファイル名を変更していませんか？ファイル名を変更すると、VOICE フォルダーや LINE フォルダーに戻しても再生できません。ファイル名を変更した場合は、MUSIC フォルダーに転送すると再生できるようになります。

主な仕様

対応 OS	Windows Vista, XP Professional/Home Edition
	Mac OS X 10.4, 10.5
対応メディア	microSD/SDHC カード
録音モードと録音可能時間（付属 2GB microSD カード使用時）	PCM 48 kHz：約 2 時間 50 分
	PCM 44.1 kHz：約 3 時間 5 分
	MP3 320 kbps：約 13 時間 35 分
	MP3 192 kbps：約 22 時間 45 分
	MP3 128 kbps：約 34 時間 5 分
	MP3 64 kbps：約 68 時間 15 分
	MP3 32 kbps：約 136 時間 30 分
録音形式	MP3、PCM (WAV)
再生形式	MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3)、WMA
	PCM (本機で録音したファイルのみ)
録音周波数特性 (外部マイク録音時)	40 ～ 23,000Hz (PCM 48kHz, 16bit)
	40 ～ 21,000Hz (PCM 44.1kHz, 16bit)
	40 ～ 20,000Hz (MP3 320kbps)
	40 ～ 20,000Hz (MP3 192kbps)
	40 ～ 15,000Hz (MP3 128kbps)
	40 ～ 7,500Hz (MP3 64kbps)
	40 ～ 6,500Hz (MP3 32kbps)
録音周波数特性 (内蔵マイク録音時)	60 ～ 20,000Hz (PCM 録音時) * MP3 録音時の周波数特性の上限値は、外部マイク録音時の各録音モードに準じます。また、下限値は各録音モード 60Hz になります。
再生周波数特性	20 ～ 23,000Hz
サンプリング周波数	16kHz ～ 48kHz
再生対応ビットレート	16 ～ 320kbps (MP3)
	32 ～ 192kbps (WMA) * ファイルによっては正常に再生されない場合があります。
端子	USB mini、ステレオヘッドフォン φ3.5mm ミニ、 ステレオマイク（ライン入力兼用）φ3.5mm ミニ、 microSD カードスロット
動作温度	+5 ℃～ +35 ℃
定格出力（ヘッドフォン）	10mW + 10mW (16Ω 負荷時 , JEITA/DC)
電源	単 3 型エネループ充電池 1 本 または単 3 型アルカリ乾電池 1 本

電池持続時間（録音） (付属の 2GB microSD カードを使った場合)	アルカリ乾電池：　MP3 約 54 時間、PCM 約 22 時間 エネループ充電池：　MP3 約 44 時間、PCM 約 21.5 時間 (録音環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、録音モニターなし、ALC ON 時）
電池持続時間（再生：ヘッドフォン） (付属の 2GB microSD カードを使った場合)	アルカリ乾電池：　MP3 約 58.5 時間、PCM 約 25 時間 エネループ充電池：　MP3 約 48 時間、PCM 約 23 時間 (再生環境：再生 LED OFF、バックライト OFF、録音モニターなし、サウンド EQ FLAT 時）
電池持続時間（再生：スピーカー） (付属の 2GB microSD カードを使った場合)	アルカリ乾電池：　MP3 約 38 時間、PCM 約 19.5 時間 エネループ充電池：　MP3 約 32 時間、PCM 約 19.5 時間 (再生環境：再生 LED OFF、バックライト OFF、録音モニターなし、サウンド EQ FLAT 時）
寸法	約 46.5(W) × 129.5(H) × 17.5(D) mm
質量	約 91g (エネループ電池含む）
付属品	単 3 形エネループ充電池 (1)、2GB microSD カード (1)、インナーイヤー型ヘッドフォン (1)、キャリングポーチ (1)、マイクスタンドアダプター (1)、ウインドスクリーン (1)、DVD-ROM (1)、USB ケーブル (1)、取扱説明書 (1)

・ 電池持続時間は、電池や microSD カードの種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。アルカリ乾電池、もしくは当社指定の充電池（エネループ充電池）以外での動作保証はいたしません。
・ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

て

と

な

は

ひ

ふ

904IP-C0